夕刊
滿洲日報
四月廿四日
大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

日支條約問題公文 月末に調印交換

兩事件の樞府諮詢都合を見て 芳澤公使南京へ

【上海二十三日發電】過日假調印を終つた日支通商條約問題の照會文は北平公使館に廻附して置いたが交換照會文に調印した上本日上海の芳澤公使の手許に送り返されて來た芳澤公使は南京漢口事件の樞府諮詢の都合を見て月末頃南京に赴き正式調印文書交換の手續を取ることに決定してゐる

山東接收軍隊と引繼後の軍隊配置

芳澤公使が入手した 蔣介石氏山東警備引繼計畫案

【上海二十三日發電】芳澤公使の入手した蔣介石氏の山東警備引繼計畫案は直に芳澤公使より政府に報告されたが内容は

一、濟南及び張店以西の山東鐵道沿線は孫良誠軍其の他馮玉祥軍を以て引繼ぎ治安維持に當らしめ

二、張店以東の山東鐵道沿線は陳調元、方振武以下蔣介石系軍隊を以て引繼ぎ治安維持に當る

を大綱とし警備引繼後の軍隊配置を左の如くする豫定であると

一、濟南、龍山、淄川、張店に孫良誠軍二萬

二、第二十一師張煥英軍一萬五千を泰安、兗州に配置す

三、第二十二師桂心明軍約一萬五千を泰安、濟南に配置す

四、程大章軍約三千を濟寧に配置す

五、馬鴻達の騎兵軍一萬四千を濟南に配置す(以上馮軍系配置)

六、顧震軍二萬、陳調元軍一萬五千を利濟、青州、昌樂、昌邑、安邱一帶に配置す

濟南の邦人引揚げの準備中

方軍山東入に大恐慌

【北京廿三日發電】方振武軍の山東入り説傳へられ濟南在住の邦人は同軍が濟南事件の元兇であるので頗る恐慌を來し、目下頻りに引揚げの準備中であると

州内の支那側策動一層嚴重に取締る

けふ大場高等課長が來連して 大連署と打ち合す

張宗昌一派の山東出動以來我官憲は特に嚴正なる態度を持し以て内外の誤解を避くるやう努めつゝあつたが、最近共和同盟軍の旗色惡しきに伴ひ同派と旅大在住者との間に種々なる策動行はるゝ虞あり殊に張宗昌氏が再び亡命し來る場合を豫想して、此の際一層取締及び策動禁止を勵行する必要ありとなし、大場保安課長は廿四日午後來連し大連警察當局と之等の點に關し關東廳の意嚮を傳へて種々打合せをなしたが或は此の際我官憲として何等かの聲明を發するかも知れないと

大同盟軍主腦者 自動車で龍口入

敗走の模樣はない 高松丸のもたらした情報

廿四日午前龍口より大連入港した高松丸のもたらした情報によると廿三日午前三時張昌宗氏外大同盟軍主腦者達は自動車によつて芝罘より龍口に入城した而してこゝにて吳光新氏等と面會種々協議するところあつたが逃げて來た模樣はなくむしろ軍須輸送……であつて龍口市内は頗る平穩で牟平は占領したし今後は濟南攻擊に當るのみだと盛んに宣傳するところあり、更に軍を掖縣に輸送してゐた、而して龍口において傳へられてゐるところでは牟平攻擊は城内東口より褚玉璞軍におはれて劉軍が窮鼠猫を噛む勢で三方を取卷いてゐた宗昌軍の重圍を突き破り芝罘まで追かけたもので牟平には今褚玉璞軍が屯つてゐると、要するに今

宗昌氏龍口行は濟南攻擊の準備

豫定の行動と某氏語る

某消息通の語る所によれば張宗昌氏今回の龍口行きは寧ろ豫定の行動ではあるまいかといふ、即ち日本軍の山東撤退期前において濟南を衝くべく準備行動を開始したので昌邑にある孫殿英、褚玉璞におけるで賞鳳岐軍の戰線に主力を集中せしめ壽光に屯する仕吉光軍を擊破すべく計畫されて居るのではないかと云つてゐる、尚龍口よりの通信は芝罘經由の關係上芝罘で押へられて居るらしく龍口大連間の電報一つも接手しない狀態にある

回の敗因とも認むべきは聯盟軍側に連絡が缺けて居た爲であらうと云はれてゐる尚聞く所によると宗昌氏は部下に向ひ「死んでも亡命はしない」と豪語してゐる由である

青天白日旗の芝罘市街

芝罘方面より當地某所への報情によれば張宗昌敗亡の聲が傳はると共に又復芝罘市中は新制五色旗の影は何處へやら戶每に青天白日旗がおし樹てられ、朝に源家を迎へ夕に平家を迎へる時代めいた悲哀に市中は滿されてゐると、しかして今の處平穩で市民一同ホツとした形であると

延吉の鮮人壓迫益々惡化す

延吉交涉署長の命で

【間島特電二十三日發】最近激化した朝鮮人壓迫事件が持ち上らんとしてゐる矢先、間島に於ても學田取上の布告が出されたので鮮農は既電の如く大恐慌を來してゐるが、延吉縣知事孫象乾氏は更に延吉交涉署長張書翰氏の命令に依り、管内の各鄕長及び農會をして縣内に於ける支那地主の朝鮮人に對する土地賣渡し内容について嚴重な調査を行ひ歸化鮮人に對する土地所有權移動證明をも停止したが、之は非歸化鮮人を壓迫せん手段であるといはれてゐる

外相候補の芳澤氏近く歸朝

【東京特電廿四日發】日支懸案交涉に努力しつゝあつた芳澤公使は既に大體の諸懸案解決を告げたので近く歸朝することゝなつたが歸朝の上は外相候補として擬せられつゝある

重光總領事參事官兼任

愈よ決定す

【東京特電廿四日發】外務省は國民政府の希望を容れて重光上海總領事に大使館參事官を兼任せしめんと考慮中であつたが諸懸案解決に伴ひ芳澤公使が近く歸朝するので重光氏をしていよく參事官を兼任せしめることになつた

植民地國有財產實施狀況を視察

國有財產法適用のため

【東京二十四日發電】植民地に國有財產法を適用する計畫を以て大藏省は朝鮮、臺灣、關東廳各當局と協議を進めてゐるが之が前提として國有財產の實地狀況を視察するため來る五月二日左の二班に分れ約一月の豫定を以て調査に赴く筈である

關東州、滿洲方面 黑田次官、安江國有財產課長、河野會計檢査院部長、藤田四郎

臺灣 菅原傳

大口次官、杉大藏書記官、伯爵奧平昌忠、和田彥四郎

大連警備中隊交代

十五聯隊より大連に派遣されてゐた警備中隊は廿四日限り役任中隊と交代して旅順原隊に復し廿五日の御用船で内地に歸還することになつたので中隊長三澤金夫大尉は離任挨拶のため市内各方面を歷訪した

漁區入札契約を破棄せしむ

契約を破棄せざれば高壓的に行政處分す

【東京二十四日發電】經濟問題より政治問題化せんとしつゝある日露漁區問題は杉山茂丸氏等の斡旋に依つて幾分妥協の曙光を見せ政府に於ても結局妥協成立するものと見てゐるが所管大臣たる山本農相は競爭入札に依る國家將來の損害を防止するため右妥協成立の場合は宇田某と露國政府との入札契約を破棄せしめ新に從來の價格を以て入札せしむるの方途を講じ若し妥協成らずして宇田某が契約を破棄せざる場合は高壓的に行政處分をなし國家の利益を擁護する方針であると稱してゐる

漁業會社を設立

露水組合加入のため

【東京二十四日發電】既に露國漁區七八ヶ所は既に入札した漁區……勞所との間に借區契約を了したので近く正規の手續きにより露水組合に加入する筈なるが同組合に關し會社とするか個人とするか

公森財務官上海へ

對支借款で

【東京二十四日發電】大藏省では漢冶萍、江西南潯鐵路、交通銀行其他對支借款問題につき其の對策を講究中であつたが成案を得たので公森駐支財務官は其の意を受けて南京政府に對し交涉を開始するため二十九日東京發上海に赴き南京政府と交涉することに決定した

民政黨の代表が首相と會見

對外諸問題について

【東京二十四日發電】民政黨は二十三日總務會で濟南事件解決公文不諮詢、支那排日、滿洲某事件の各問題並に不戰條約等の緊急なる重大問題に對し政府の責任を問ふと共に其所見を訊すべく黨の代表者を田中首相に會見せしむるに決した

東京市長に堀切氏

正式に受諾す

【東京廿四日發電】市長選擧の東京市會は廿三日午後四時開會したが堀切善次郎氏詮衡に不滿の分子が策動し市會延期說を唱へ紛糾を來したゝめ一先づ休憩して各派交涉會を開會、無産派は安部磯雄氏を支持し、中心會は田川大吉郎氏を唱へ意見の一致を見なかつたが六時再開選擧の結果大多數にて堀切善次郎氏當選した、散會後柳澤正副議長は堀切氏を訪問し正式受諾を求めたるに同氏は之を受けた(寫眞は堀切善次郎氏)

小兒保險の具體案を作成

來議會に提出する

【東京二十四日發電】遞信省簡易保險局で計畫中であつた小兒保險制度は歐米各國に於ける同制度調査のため出張中の生田規畫課長が此の程歸朝したので愈具體案の作成に着手し來議會に提出明年度より實施することになつた、計畫の内容は小兒殺しの危險防止等の見地より保險金額は大體埋葬費を標準とし受け取り人を二等親迄に制限し被保險人は滿一歲以上とするが年齡が增すに連れて保險金額を遞增するか又は一律にするかに就いては更に研究することとなつてゐる

水野直子昏睡

【東京二十四日發電】貴族院議員水野直子は二十三日以來今朝に至るまで昏睡狀態を持續してゐる

荻川放談 (27)

策源

曾つてセメウノフは、兵をザバイカルに擧げ、世界大戰の聯合與國軍が、西伯利に於て反革命を標榜するオムスク政府を援け之をして單獨不媾和訂盟に悖りし革命の歐露モスコウ政府に對せしむるや、方面と目的を等しうする點から、彼はオムスク政府及び聯合與國軍に加擔し、殊に聯合與國たる日本軍との協同に努む、然るに世界大戰は濟みオムスク政府の仆るゝや、聯合軍が尚其處から全く撤去せざるに先だちて失敗し、旅順に亡命するの餘儀なきに至る。

◇

セメウノフは旅順に來るも再興の念を斷たず、然れども日本は旅順を其策源たらしむを欲せず是勢情は既に異りて、彼と協同の意義が失はれたるに因る、それで過去の關係より友誼を示すには政治の亡命客を以てしたから、彼は默つて更に日本内地に轉じた、斯うした歷史に鑑むると、過ぎしことだが、張宗昌が曩に旅大地方で爲せし蠢動に對しては、餘りに寬大であつた、敢てこゝでこれを蠢動と云ふ、然り、其企畫たる唯革命に反抗せんことにのみ焦つて、支那の現勢に應ずるが如き大精神と大雄圖を擁らずして、山東への突進を試む、頭者これが失敗を傳ふるは當然のみ。

◇

併し張宗昌の成功と失敗とは、日本に何等の關係なし、獨り其蠢動が迷惑の種として殘る、實に此蠢動よりして世間から日本の豪つた嫌疑は少くない、眞味のところを伺ふと、張宗昌一派は、企圖の達成に日本の援助あるを期待せしならん、それで之を殊更に云ひ振らして威勢を高め、また旅大の地方に策源をも求めた、而して彼等に此期待を懷かしむるに至つたは、所謂日本側浪人の與つた力ありとも云ひたい、罪なことで、由來此等浪人は國策を知らず、いなこれを忖らずして、無暗に策を弄ばんとする癖がある。

◇

如上のことから日本の受くる嫌疑や蒙る迷惑を除かんには、今後は充分にそれらへ監督の眼を光らさなければなるまい、つい先頃の新聞で、米國新國務長官スチムソンの或る聲明書を讀んだが、其中に

支那と日本の貿易は、最早腕力を以て開港し、若くは之を占領することによつて行はれるものでない

の一節がある、今の時節に斯うした言葉の出るは、不可思議に堪えられぬほど陳腐と評したいが、その因つて來るところが、張宗昌、其の策源たる旅大地方其の舞臺たる山東地方、此等からならずやと考ふれば、嗜を基にそう考えられぬでもない、こゝに我國は此の嫌疑をうけてはならぬ、こゝに我國は此の迷惑を蒙つてはならぬ。

天長節祝賀會

大連市では來る二十九日天長節當日恒例に依り市主催にて天長節祝賀會を午前十一時半よりヤマトホテルに於て開催することに決定したので市民諸君は奮つて出席せられたいと會費は金一圓、二十七日(土曜日)迄に市役所庶務課に申し込み會費と引換に會券を受け取らしたしと

旅順驛長更迭

滿鐵では廿四日左の如く旅順驛長の更迭を行つた

旅順驛長 伊藤眞一

鐵道部庶務課勤務を命ず

大連埠頭輸出主任 九里正藏

旅順驛長を命ず

因に伊藤氏は曩に鐵道部人事係主任から東京支社運輸課長に榮轉した平山敬三氏の後を襲ふものである

農業實習所生卅名募集

滿鐵熊岳城農業實習所では本年度入所生三十名を募集することゝなつたが出願資格は高等小學卒業程度以上で二十歲以上の日本人にして將來附屬地その他の地に於て農業を營むもの、出願締切は五月四日、選拔考査は八、九兩日午前八時より實習所で口頭又は筆記の試問を行ふことになつてゐる

州内華人教育協議會

旅順師範學堂に於て開催された州内華人教育の協議會は三民主義教育が果して如何なるものであるかに關し論議されたに過ぎなかつた尚協議會の中心問題は六月中旬恒例により開催される教育研究會總會に就いて討議され全部は當番幹事である柳原伏見臺公學堂長に一任し學藝會を開催の後教科會を別に催すことに決定したと

滿洲郵便物

關東廳遞信局管内の通常郵便物數は從來每年引受四千三百萬通、配達五千萬通内外であつたが、昭和二年度より漸次增加し昭和三年度に於ては財界好轉の影響を受けて更に急激なる增加を示して引受五千七百萬通、配達六千百萬通の多數に達した

小日山理事

【昌圖特電二十四日發】小日山理事は本日午前十時四十五分開原發金溝子、馬仲河、昌圖各驛社員を慰問し十一時二十分北行した

吉川電通支局長けふ着任

日本電報通信社大連支局長として同本社から吉川義章氏が廿四日來任した、同氏は多年同社に在つて政治部記者として東都の操觚界に知られ又久しく全國新聞同盟記者クラブ總代として功勞あり、更に同社京城支局を創設して社業及び朝鮮の言論界に貢獻し昭和二年同本社總務課長に轉じ今日に及んだ人である因に氏は龍田町一三七に寓居した

人事

▲原田耕一氏(五品取引所理事長)廿四日入港あめりか丸にて歸連

▲島田昇氏(奉天丸ドクター)同

▲吉川義章氏(新任電通大連支局長)同上着任

▲内海安吉氏(前電通大連支局長)吉川新支局長と共に市内各方面歷訪

大觀小觀

◇

米國は徹底的軍縮を考慮する準備があるといふ。考慮する準備くらゐならドコの國でも持ち合せがある。

◇

相對的必要に基く軍縮とは、五、五、三を五、五、二にでも變へる意味であらう。

◇

ソウエートロシアが獨り悅に入つて躍り上つてゐる。

◇

朝鮮は特殊事情あり、臺灣にも亦特異性ありといふことになると關東州と樺太と南洋だけの拓殖省が出來る。ソレも宜からう。

◇

東三省當局頻りに歐米に秋波を送るとやら、ソレを知らずにマダ脂下つてゐるのがある。

◇

關東州野球大會、緊張と好成績の裡に了り、實業戰の期日近づく

天氣豫報

廿五日(晴) 南東の風 時々曇り

日出五時四分 日沒六時四〇分

滿潮前十一時十分 後十一時二〇分

干潮前四時四五分 後五時三五分

州內各中等學校の入學考査廢止か

來る卅日の小中學校長會議で議題の中心となる

關東州內に於ける各中學校及び高等女學校其の他の中等學校の入學考査を本年度は施行したが、各小學校側の意見によると入學試驗を全然撤廢すべしとの希望多數あり來る卅日午前十時から大連第二中學校に於て開催の關東州內各小、中學校長會議には當然議題の中心となるべく、小學校側としては今回の會議に於て果して昭和五年度も亦本年度同樣の考査試問を施行するや又は撤廢せらるゝや豫知することは本年度の小學五年生に對する教習上必要であるためこれを附議する意嚮である、關東廳學務課としては勿論意見もあるらしいが撤廢するとせば如何なる方法を講ずべきや其れに代るべき具體案の如何によつて決定する肚裏である

グ公殿下御入京の日ステートメント御發表

新聞記者を御前に御召し遊ばす

【東京二十四日發電】グロスター公殿下は五月二日横濱御入港の御豫定なるが、同日霞ケ關離宮に入らせらるゝと共に殿下には特に正午都下各新聞社員一名宛を御前に召させられ親くステートメントを御發表あらせらるゝ旨二十三日接伴員より通知があつた、尚五日午後二時半より霞ケ關離宮に於て濠洲青年團より我少年團へ寄贈した旗をグロスター公殿下御自身で我少年團代表に御親授遊ばされることになつた

『花』『春』等の日本語を御存じ

御快活な船中の御生活

【東京二十四日發電】二十三日モレア號無電船上のグロスター殿下は御附武官等を御相手に運動セーターに半ズボン素足に靴と云ふ御扮裝でメゲシンボールに興ぜられ非常な御元氣であるが、側近者の談に依れば殿下には日本に關する讀書や日本語も御練習あり「お早う」「花」「春」「障子」「疊」「藝者」などの單語は御存じあり櫻には遲からんも躑躅、藤、菖蒲は見らるべしと樂しんで居られると

東京に強震

【東京廿四日發電】廿三日午後十一時十五分頃東京地方に近頃稀なる地震あり時計の振子止まる程で寢ばなを襲はれた市民は驚いて戸外に飛び出した者が多かつた被害は別段ないやうであるが近頃珍しい強震であつた

澄宮葉山で御靜養

御用邸にて御勉學遊ばす

【東京特電廿四日發】澄宮殿下には去る一月十五日御發熱咽頭ヂフテリア症として葉山御用邸に御療養中であらせられしが昨今は殆と御全快と申ても差支へなき御元氣にあらせらるゝも尚若干の菌存在が拜せらるる爲療養では種々御手當申し上てゐる侍醫之がため殿下には中等科一年の第三學期を全休あらせられたので御用邸に教師をお招きの上御勉學遊ばされると承る

河部五郎が日活を退社

酒井米子伏見直江と實演か

【東京二十四日發電】日活時代劇最高幹部河部五郎は今回突如日活を退社して獨立する旨を聲明したが、一說には常磐座を中心に酒井米子、伏見直江其の他と提携して實演に當るとも云はれてゐる【寫眞は次郎長に扮した阿部】

悶死した支人を路上に遺棄

大連署で死體を解剖

二十四日午前五時二十分ごろ大連近江町七十五番地路上に年齡五十歲前後の支那人遺棄死體あるを警邏中の近江町派出所詰吉永巡査が發見、他殺の疑ひあり大連署より星司法主任以下現場に出張し檢證した結果左腕に「王文田」の青刺その他で同町七二左官職劉義記(五三)方より運搬したものと判明、直ちに劉義記および同居者同王德屋根葺王文田(五三)と稱し二十陸(二八)同周間振(三四)の三名を引致し取調べた處、死體は瓦三日正午ごろ右劉かた前の共同便所で苦悶し居るを市役所の糞便汲取りが發見し劉が引き取り同町一四三左官助手于華風(四七)を呼び寄せ胸部、背部數ケ所に針を打つたが遂に翌二十四日の午前五時ごろ悶死したのを前記の場所に運搬遺棄した事自白したが取敢へず劉、王、周の三名を死體遺棄とし于を針灸術違反として留置すると共に一方王文田の死因不明な爲め解剖する事になつた

場面の變化に富み興味をそゝる「金剛呪門」

本日到着し檢閱を終へ今夕封切

本紙夕刊連載中の「金剛呪門」の映畫は本日の亞米利加丸にて到着直に檢閱を濟まし愈今夕七時より協和會館に於て封切上映する事となつた、從來の劔劇物の新生面を開いたプロットの洗煉されたる變化原作者山中峯太郞氏の巧な構想は愛讀者の熱狂的感激に迎へられつゝあるが原作の良さは映畫化された場面の變化面白く主演者武井龍三は元東亞に在つて其獨特な演技に天下のファンを沸き立たせ今回獨立プロを設立せる第一回主演作品として必死の努力を以て熱演、お京に扮する巴蝶子の劔劇振りは素晴らしく畫面に活躍し鮮明なプリントと相俟つて必ずやファンの大喝采を博するであらう

愈よ今晚七時から「金剛呪門」映畫會

滿鐵協和會館で ◇會費一般八十錢 讀者五十錢

主催 滿洲日報社

復興局疑獄 控訴判決

けふ言渡し

【東京廿四日發電】復興局疑獄事件に關する元復興局整地部長稻葉健之助外十名に係る瀆職事件控訴公判は廿四日東京控訴院で開廷赤羽裁判長左の如く判決を言渡した

懲役一年二箇月 元復興局整地部長 稻葉健之助
無罪 元鐵道省經理局長 十河信次
懲役八箇月 元兵庫縣理事官 宮原憲三
懲役八箇月 元鐵道省屬 堤久馬
無罪 渡邊半吾
外池山秀、稻葉忠兵衛の二收賄者は執行猶豫、贈賄者側は
懲役三箇月 岡田直之助
以下全部懲役三箇月

大連の花(二)

さくらの行進曲

南華園青柳農園から

桃林荘へ—見頃は月末頃から

大連の櫻のバロメーターとなつてゐる電氣遊園の櫻が、花吹雪となつて散り敷く頃、青柳農園の櫻花が一目千本の花霞を棚引かせます、可成り古い歷史を持つ此處の櫻は吉野櫻の一重咲きで、古木の多い事と、木の密接してゐるのを誇りとしてゐるだけに滿開時の眺めは確に見ものです、背後の山から見下した雪のやうな花夢、息づまるやうな花いきれの中に花とんねるの下から見上げた密雲のやうな萬朶の花片は人々を春の謳歌に亂舞させずには置きません。

◇昨年は四月の廿七八日頃でしたが今年はズツト遲れて五月七日から九日頃が滿開でせう、木の數ですか?郊外土地が此の附近を住宅地にしたので、道路などにとられて昨年より四五百本位減り、ザツト千五六百本もありませうか、然し今年は非常に澤山蕾がつきましたから、一般に花は去年より見事でせう。

◇向陽門で電車を捨て、みどり溫泉の傍を中央公園に入ると、南華園の吉野櫻が、散步客に美しい微笑を投かけます、此處のはみんな若木で前庭、後庭合して約百本餘り、南の茶寮の周圍にも本年大分移植されてゐます昨今蕾も大分含らみ、二十七八日頃が滿開の見込みで、樹間に點された雪洞式の電燈の仄かな光に照らし出された夜櫻は床しい大和繪の懷しさが想はれます

◇光風臺の電車停留所の南、約十町、綠色の木橋を渡つて東へ山の裾にかゝつたところに荒木伊平氏の桃林荘があります、此處の櫻も矢張り吉野の一重で古風な日本式庭園に、石燈籠や、泉水、築山等に配して十本の古木があります、五六年前までは滿開時には茶店等も出て花見の客で賑つてゐましたが、茲數年來は花も以前程ではなく、花見の足も減り、只淸楚な雅致を愛する人々が賞玩するに留まつて浮き〳〵した花見酒の相手でなく、詩歌の友となつてゐます、目下のところ蕾は稍固く、滿開は多分今月末から來月初めでせう(寫眞は南華園の花)

早大辛勝

早明第一回戰

【東京廿四日發電】早大對明大留守軍野球第一回戰は二十三日午後三時十分神宮球場に明大先攻にて開始明大は鬼塚井川・早大は松木宮脇のバツテリーで戰ひ三回目に明大一早大二・六回目に明大一を得たる後は双方とも防禦堅くして得點なく八回に至り早大は昨日對法政戰に腕を見せた新進小川投手を立て補回戰に入り十回明大は二死滿壘のチャンスを失した後早大一點を得て辛くも三對二で勝つ 閉戰五時十分

撞球選手試合

廿七日に旭軒で

來連中の小原の撞球選手村儀・慶野兩氏は市內各所に於てコーチ及び試合を行つたが廿六日は旅順に赴き廿七日午後七時から大連若狹町旭軒に於いて大連の高點者野口・武重兩氏との間に四つ球千點三つ球二百點・スリークツション十點及びボークラクンの各ゲームを行ふことになつた・尙ほ大連の試合は之を以て打切り二十八日村儀氏はラヂオ放送をなした後九日から沿線各地を巡歷することになつた

「金剛呪門」封切會 讀者優待割引券(一枚一人)
(この券持參者に限り會費五十錢に割引)
廿四五日夜七時協和會館で
主催 滿洲日報社

「金剛呪門」封切會 讀者優待割引券(一枚一人)
(この券持參者に限り會費五十錢に割引)
廿四五日夜七時協和會館で
主催 滿洲日報社

夏期時制を各方面に照會

一致して希望すれば關東廳で實施の告示

サンマータイム實施に就ては各方面に及ぼす影響少からざるを以て關東廳では二十四日大連ロータリー倶樂部、同水曜會、大連、奉天、長春の各商議、關東軍司令部參謀長、海軍駐在武官等各代表方面に照會を發したが、愈各方面とも之れを希望するにおいては六月一日より九月三十日迄現行標準時を日本の中央標準時に改めて實施の告示を發する筈である

馬車夫が生埋め

一名即死 二名重傷

二十四日午前十一時十分頃市內榮町合資會社大連連鎖店建築場內東端の工事場に於て掘鑿中の土が壞れ落ち同工事請負千輪工務所使用馬車夫(姓名不詳)三人が下敷と爲り內一名は發掘の遑なく卽死し他二名は重傷を受けて宏濟病院へ擔ぎ込まれた

千山驛近く馬賊出沒

守備隊が出動

【奉天特電廿四日發】二十四日午前十一時頃千山驛の東方を距る一里の地點に約二十名より成る馬賊團が現はれ直ちに討伐に向つた支那巡警と目下交戰中である急報により大石橋の獨立守備隊出動し現場に急行した

長女を連れ人妻家出

自殺すると遺書を殘して

原籍山口縣豐浦郡豐田下村當時沙河口臺町二二瓦斯會社員祐之の妻本田ヨネ(三〇)は二十二日午後自殺する旨の書置を殘し七歲になる長女を連れて家出した、原因は夫祐之が常に素行收まらず暴飲流連の狂態の限りを盡してヨネを虐待するので愛想をつかしたものらしい

南船北馬

◇……支那側では故孫文氏の記念碑を建設するために其の材料として復州より印石の石材を奉天に輸送してゐる【瓦房店發】

◇……本年莫斯科の共產黨大學を卒業するものは全部で二百四十名でその內支那人四名朝鮮人一名である、尙本年度の新入學生を募集してゐるが、支那人鮮人の志願者が多いと【哈爾賓發】

◇……張學良氏主催の小河沿公共體育場に於ける華北聯合大運動會は五月廿二日擧行に決定【奉天發】

◇……世界に於けるラヂオ受信セツト所有者數は七千萬人と見積られてゐる【海府發聯合】

又復擡頭して來た 金輸出解禁問題

當地經濟界の觀測

此間の事情を雄辯に物語つてゐる

昨年秋より冬にかけて著しく擡頭したる金解禁說は其後一時下火となつて居たが最近に至り又復擡頭し、解禁の氣運は著しく濃厚となつて來た、これが爲め證券界及び金融界に大小の波紋を描き財界はその影響をうけて何となく色めき、最近政府部內及び日銀當局において金解禁近きにありとの口吻をほのめかし立つて居るが我財界の實情に徴して、果してそれが果してどんなものであるか——これは一般經濟界にとつて頗る重大問題であるが、當地財界有力者の意見、その他列べて見れば左の如くである

近く斷行の意思はあるまい

西山正金支店長談

大局論から金解禁に反對するものは一人もなからう、しかし解禁の時期に就ては、その立場によつて意見を異にする、そこで即行論と尚早論に分れるのであるが、政府のとれる政策その他から忖度して近く斷行の意志あるを認めない

今日の日米爲替の狀態で即行するとなれば、その打擊は非常に大きく公債、株式の暴落その他金融界及び産業界は收拾すべからざる事態を惹起するであらうだから解禁するとしても準備的緊縮政策をとるとか正貨現送による爲替の漸進的回收を俟ちその後に於て解禁すべきであらうしかし正貨現送となれば、國內通貨の縮小となり産業界にも相當影響あるものと推測される、要は財界安定を目的とする解禁であれば經濟界の動搖を最少限度に止めるといふことを一般に心掛くべきである

寂びれる 錢鈔市場

柄澤幸男氏談

歐州大戰の勃發と共に各國が相次いで金輸出を禁止するや日本に於ても大正六年九月勅令を以て金輸出の禁止を實施した、我大連錢鈔市場は之に先立つこと三ケ月即ち同年六月一日に開業されたもので金輸出禁止の恩惠に浴しつゝ今日發達し來つたものであると同時上海の標金市場も又我が金輸出禁止に依りて初めて今日の如く發達して來つた從つて金解禁が決行された後の大連錢鈔市場の影響如何は言はずして明らかだ、即ち上海の標金市場は存立の意義がなくなり、それと共に上海の標金市場に左右される當地錢鈔市場は爲替の變動を見ざる當然の結果として取引は全く閑散となり、其の機能を失するに至るべきは自明の理である、日英、日米クロスの變動によつて動くものだが銀は二十五片乃至は二十六片の間を往來するに止まり同爲替は又四十九弗八分の七位まで上り、以後の動きは殆んど見ざるべく、かくて取引は殆んど行はれないだらう、現に英國が大正十四年四月金解禁を實施するや殆んど英米クロスが動かざるに至つたに徴するも

爲替の恢復を 待つても仕方がない

石田三井支店長談

爲替の回復を俟つて解禁しろといつてもそれは幾年先のことか判らない、日本の經濟狀態は金の解禁を要求して止まないのである

所謂尚早論者は爲替がパーに近くなつてから解禁すべきだと、唯一の條件としてゐるが、人爲的に爲替を吊り上げて置いて解禁するのは却つて危險である、即ち爲替相場はその國の實勢を示すものであるから日本の圓は現在の四十四、五弗より價値がないものとして、物價その他總ての經濟調節がとれてゐるのであるから、急に爲替を一割以上も引揚げた後解禁するとなれば經濟の調節を破壞することゝなる故に解禁するなれば現在爲替レートで行ふべきであると思ふ

大典博授賞者 滿蒙物産出品の

京都で開催された御大典博覽會に滿蒙物産を出品して賞狀を授與されたものは金牌三、銀牌二、銅牌三、賞牌一、褒狀二の計十一であつたが、受賞者は左の如くである

窓硝子名譽賞牌大連昌光硝子株式會社、美術品金牌大連窯業株式會社、同硬化大連油脂株式會社、金牌特設館滿蒙茶室滿鐵、銀牌絨毯大連絨毯工廠、パラフイン撫順炭礦、銅牌は栗みどり長谷川鉾太郎、罐詰羊羹林久郎絨毯大連絨毯工廠、褒賞、平燒かき餅吉岡信三郎、ヘーヤネツト文化細手スキ鋼辻村甚助の各會社及個人で賞狀は關東廳商工係に到着してゐる

五品市場の限月延長內定す

樞密院の諮詢を經て 五月一日より實施か

大連五品取引所では內地市場の限月延長案が今春議會を通過し愈來る五月一日より三ケ月限に延長することになつたので、當市も內地市場との聯繫き、受渡等の關係上內地と同一制度にせねば不便なところから既報の通り關東廳を通じ右變更に關する請願をなすと共に原田理事長は上京中の西山財務部長とも打合せ、右に關する勅令の改正について運動するところがあつたので多分今月中に樞密院の諮准を終り內地同樣五月一日より實施の運びになるものとみられてゐる

上京の用件は限月問題の打合

飛んだ宣傳で迷惑だ 原田五品理事長歸る

五品取引所長原田耕一氏は二週間の豫定で上京中であつたが廿四日入港のあめりか丸にて歸連した、同氏の上京は問題視されつゝある取引所民營問題に絡んで各方面より注目されて居つた所であるが氏は船中往訪の記者に對し「策動だつて冗談云つてくれては困る」と否定し乍ら今次上京の用向その他に就き語る

御承知の樣に長官はこちらに居る事だし、株主の大多數もこつちに居るんだから何も運動するにしても上京する必要はないではないか、實は私の行動に就いてとやかく云はれるのは上京の途、門司で新聞記者連に、取引所問題につき內容を說明したに過ぎないが、あんなに大きく宣傳されたのであつて、あれには全く困りました、だがこんどはこの民營問題の裡面に何等利權がないと云ふ事を知らしめた丈でも効果はあつたと思ひます、實は上京の用向きは內地取引所の限月延長に對しこちらでもそれに步調を合せる必要があるのでそんな方の打合せで行つてゐたに過ぎない、結局民營問題は株主と取引人の關係が巧く行つてからの問題で上京前と何等變つた事はありません云々

官營存續派の陳情署名勸誘

關係方面に多少の異論あり まだ全部纏まらず

大連取引所の民營移管說擡頭に關し、之に反對せんとする特産取引人組合では關東廳に對し取引所官營存續の陳情書を提出することに決し右陳情書に署名捺印方を各關係方面に勸誘中であるが、右に關し錢鈔取引人組合では內部に多少の異論を生じつゝあり、且又組合長劉仙洲氏の旅行不在なるを以て調印を保留中であるが右につき支那側某有力取引人は左の通り語る

特産取引人組合側から官營存續方に關する陳情書に調印を求められたことは事實であるが目下劉組合長も留守中であるし、それに錢鈔取引人組合では昨年信託會社の重役及大株主の同意を得て赤塚、劉仙洲、千田、遲子祥、任竹棠の諸氏が木下關東長官に會見し錢鈔信託會社の單獨民營を希望したこともあれば今更官營存續方を陳情するは矛盾したことにもなるので目下考慮中であるがいづれ劉組合長の歸連を俟つて態度を決定したいと思つてゐる

北滿地方の經濟界近況

異常なる問題の續出と邦商 支商の活躍漸く著し

哈爾賓滯在中であつた國際運輸當務平田驥一郎氏は一兩日前歸連したが例に依つて同氏の北滿經濟近況談を示すと左の通り

北滿といふ所は自分が赴哈する每に何等かの問題が突發し經濟的に異常な問題の續出に依つて非常な動搖を來し毫も安定し得ないのは誠に

遺憾 であつて其不安に脅威を感じつゝある邦商に對しては洵に同情に堪へない、今回も赴哈して見ると曩に例の關稅問題や烏鐵公債釣上げ等に因つて不尠打擊を蒙つた特産界は又復突然浦鹽經由雜穀類の輸出禁止と云ふ暴令を支那官憲に依つて施行されたため極度に萎縮し、恰も火の消えた樣な狀態で諸特産物の相場は暴落し、非常に市場を紊亂させた、尤も此の禁止令は支那官憲と交渉の結果既に積出したものに對しては

解禁 されたが今尚今後の新取引に對しては容易に解決困難の樣子である此東行雜穀類の輸出禁止問題は北滿に於て特産に從事しつゝある邦商としては非常に重大視すべき問題で殊に大豆又は豆粕を取扱ひ得ざる小資本の邦商の死活問題を惹起すべきを憂慮されて居る、前陳の如き狀態であるから特産の荷動き頗る不活潑で沿線滯貨は一向減退せず(約六十萬噸)鐵道は減收狀態を呈し例年なれば既に松花江の河豆取引も相當外商筋の活躍を見るのであるが本年は「ワッサルド」が稍々手を出して居る位で他は殆んど手を染めず支那官商及糧棧業者の獨占舞臺となつてゐる、尤も本年は松花江の流氷開河が遲延し外商連が出張員を今尚河筋に

派遣 し得ないため外商の活躍が表面に表れ居らないかも知らぬ(松花江流氷昨年四月六日本年は昨今漸く流氷を見實際河運開始は本月末と云ふとである)輸出方面は大體以上の通りであるが輸入方面とても殆ど支那商に壓倒され勝にて邦商外商共に顏色なき樣思はれる、玆に注意すべきは支那商の發展狀態にて商品の「ストック」も各種各樣相當充分な手持を有するのみならず其の營業振など

外商 は從來の因習にとらはれ、日曜祭日は勿論全休し、平常と雖も午後一時より三時まで開店せざるに反し支那商は殆んど休日なく全日開店顧客を迎ふると云ふ有樣であるから漸次外人さへも支那商舖に出入すると云ふ傾向が著しくなつて來た事である

團體めぐり(三)

商賣繁昌の守神 輸組の總元締

◇……輸組聯合會の卷

◇各地輸入組合の總元締は「滿洲輸入組合聯合會」である、名稱はしかつめらしいが、其のなす仕事は最もモダン的である、つまりのれん式商賣振を改めて、今の世の經濟組織に適つた合理的商取引に組合員を導かうとする指導機關であり事業統制機關なのである、この聯合會は各地輸入組合の創立より遲るゝこと四ケ月昭和三年八月廿七日の創立事務所を浪速町鈴木ビル三階、理事長の椅子には滿鐵の推薦によつて神成季吉君が据はり、理事に大連輸組の張田忠雄君と奉天輸組の玉林從純君が擧げられた、

◇理事長神成君は大正七八年頃、黃金の波渦まく好況時代には滿洲財界にその人ありと知られた人、口八丁手八丁の老練家だ。

◇提灯持ちはこの位にしてさて——聯合會が步んで來た過去半歲を顧見よう——滿洲に於ける小賣屋さんの大部分はこの四五年前まで母國の生産業者と直接取引をする術を知らなかつた、三重も四重もの手を經て商品を仕入れてゐたので、母國と滿洲との小賣値には、著しい差があつた、友禪や紋附物といつた日本人相手の商品は兎も角、苟くも各國人相手の商品に至つては到底外品の敵ではなかつた、それは前に述べた通り仕入法が禍ひしてゐるからである、これでは邦貨の販路を海外に擴め、日滿貿易發展などゝいふことは思ひも依らない——そこで考へられたのは、先づ內地見本市の開催、共同仕入の斡旋、商店經營上の改善、上級市場の視察、運輸運送より來る障害の除去、代理店制度の改善等々、どこへ出しても耻かしくない看板だ

◇そして大阪に三名、東京に一名の駐在員を置きさらに東京、大阪及び愛知、福井、廣島、福岡の主要都市には囑託を設けた、これで漸く陣容成れりの形だが、これが果してどんな花を咲かせ、また何んな實を結ぶか、暫く經過を見たうへでなければ批評は下せない。

◇次に、聯合會の臺所を覗いて見よう、こゝは純然たる消費經濟の臺所である、一ケ年の經費約四萬數千圓、理事長以下內地駐在員及び本部の事務員の俸給がその大部分で、印刷費、通信費の一切が含まれてゐる、お金の出所は滿鐵から三萬三千圓の補助を受け、あと一萬二三千圓は各地輸入組合の按分負擔である、收入と云つては每月一回發行の會報に掲載する廣告料位のもので、出費に對しては無論燒け石に水だ。

◇聯合會の使命は商賣繁昌を策するにある、理事長神成さんの言葉を藉ようなら商賣繁昌の秘訣は資金運轉の迅速にある、それには現在の月給制度を旬給制度に改めること、これ即ち掛賣り、食倒れの經濟的弱點を取除くことが出來る、景氣挽回の要鍵はこれ以外にない——聯合會提唱に係る全國的御大典記念施設であるんだそうだ。

黃塵

◇…當地株市場も限月を延長、內地が既に延長した以上、賭け繋ぎの關係から云つても當然だらう。

◇…當地ではサスガに、限月延長投機助成、だから反對などゝ騷ぐ野暮は居ないと見える。

◇…民營問題、當の本人が否定して居ることを、他から更に、それを否定して見たつて仕方があるまい。

◇…海外クレヂツトの設定が實現すれば、無論金解禁は近い。

◇…だがその時期は、矢張り貿易轉換期以前ではあるまい。

手形交換高(廿四日)

	枚數	金額
金	八〇〇枚	[illegible]圓
銀	三三枚	[illegible]圓

市況

特産 高粱は强調 山東向引合に

今朝の定期は差したる新材料なく大豆は添はず區々保合を傳へ三等大豆は出來不申豆粕も相伴ひて保合商狀を辿り豆油は稍や買人氣引立ちて强調を呈し高粱は昨場に引續き山東向輸出を氣構へて强調を辿つた

◇定期前場(鈔建)

▲大豆(區々保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 九十九車

▲三等大豆(出來不申)

▲豆粕(保合)單位厘 限月 寄付 高値 安値 大引(五月限・六月末・六月限) [illegible]
出來高 三萬六千枚

▲豆油(强調)單位錢 限月 寄付 高値 安値 大引(五月限・六月限・七月限・八月限) [illegible]
出來高 七千箱

▲高粱(强調)單位厘 限月 寄付 高値 安値 大引(四月末・五月末・六月末・七月末・八月末) [illegible]
出來高 六十一車

▲包米(出來不申)

◇現物前場(鈔建)

品目	寄付	大引	出來高
混保 袋込	六一四〇	六一五〇	
大豆(裸物)			五十車
三等大豆(出來不申)			
豆粕	二〇七〇	二〇七五	一萬二千枚
豆油	一五五五	一五五五	三千箱
高粱	三四〇〇	三四〇〇	十五車
包米(上物)	四〇五〇	四〇五〇	十二車

雜穀出來値(廿三日)

▲包米(虎石毫)三、九〇(海城)三、七六(新民)三、九〇(李石寨)三、八〇(開原)三、三九▲瓜子(通遼)三、八〇

定期喰合高(廿三日)

品目	喰合高	前日對比較(×印減)
大豆	三七七八車	×九車
高粱	一二三七三車	九七車
豆粕	二一六九十枚	×二〇千枚
豆油	二〇三五百箱	三〇百箱

錢鈔

前場(强保合)

今朝の海外材料としては倫敦銀塊は二十五片十六分の十一と(同事)先物二十五片十六分の十一と(同事)紐育は五十五仙四分の三と(四分の一高)孟買銀塊は五十八兩十六分の十一と(同事)滙豐は七十一兩九五滙申は七十二兩〇二五大洋は百圓三十五錢爲替は四十四弗八分の五と(十六分の三安)米日は四十四弗四分の三と(四分の一安)英米クロスは八十五仙十六分の五と(同事)米支は六十一弗八分の三と(同事)上海標金は三百五十八兩三と止めて當市の銀票は五十八兩三と寄付き同價は强保合を呈してゐた

◇定期取引(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

九時・十時・十一時・十二時 [illegible]

出來高 期近 百七十四萬圓 遠期 百六十三萬圓

◇現物取引(單位錢)

銀對金・銀對洋・金對洋 [illegible]

出來高 銀對金 八萬一千圓 銀對洋 三萬二千圓

上海爲替情報

【上海廿四日發電】材料添はず寄り支那人氣迷ひ商內薄なれど爲替安のため支那人買氣あり日外銀行殊に三井に滙豐よく賣つた滙豐のボンド賣は同地工部局の電氣事業に投資するためアメリカよりの送金によるものと言はる標金引前物品筋志豐水福昌買つた

上海標金

寄付	高値	安値	大引
三五八兩一	三五八兩七	三五七兩七	三五八兩

爲替相場(廿四日正午)

◇正金(銀勘定)
日本向參着賣(銀賣)、同十五日買(同)、倫敦向電信賣(銀賣)、同二ケ月買 [illegible]

◇正金(金勘定)
倫敦向電信賣、信用付二ケ月買、米國向電信賣(百圓)、同九十日拂買 [illegible]

◇鮮銀(金勘定)
倫敦向電信賣、同二ケ月買、紐育向電信賣、上海向電信賣、同、日本向電信賣(銀買)、同十五日買拂(同) [illegible]

豆

市場は依然として何等の新味を現はさぬ▲尤も高粱は張宗昌の敗退と共に山東方面は一先づ小康を呈するものと觀て昨朝に引續き同地向の買氣ありて二錢方の强調を辿つてゐた▲不冴商狀に推移しつゝあつた豆油も買人氣引立ち强調を呈した▲定期と共に現物市場は連日閑散を極めてゐる大豆は油坊二十車豐年、三菱、日棉、建成、廣沅泰三十車で五十車現粕は勝間、三菱、昭和成で一萬二千枚の手合に過ぎない▲但し包米は好調を呈してゐた▲今日の豆粕生産高は七萬四千枚操業工場三十一軒であつた▲下旬に入つて少し豆粕の生産高が增加してはゐる▲とは言へ昨年に比ぶれば話にならない

銀

海外材料の銀塊は倫敦同事紐育四分の一高孟買同事を入れ爲替は日米十六分の三安米日四分の一安を報じて銀高材料であつた▲上海標金は材料薄に殆んど變動を見せず從て地場鈔票は近期十錢遠期十五錢高と强保合を呈した▲金解禁の實施切迫氣構へに頃日來好調を呈し來つた爲替は今朝反動安を入れたものであらう▲金解禁の實施は今日何人と雖も否むべきでないが只其の時期と方法に至つては各人各樣の觀方がある筈だ▲輿論として提唱さるゝが如く全國民に果してその準備用意あるや否やに就いては疑問の存する所だ▲但し實施後の錢鈔市場の影響に考へ至ると思ひ半に過ぎるものがある

株式 內地堅調 五品も昂騰

內地主力株の堅調東京短期の五品騰りを眺めて當市も氣配稍好化の模樣に轉じ五品は三四十錢高に寄りアト堅調を辿りて現物及近物は三四十錢高先物は七十錢高に引けた新豆は三四十錢高錢鈔は二三十錢高出來高定期一千七百枚現物一千三百四十枚

前場

◇定期 銘柄 當限 中限 先限(五品・新豆・錢鈔・滿鐵・二新・鐘新・新東・大新・五品) [illegible]

◇現物(甲部) 銘柄 寄付 高値 安値 大引(五品・商信・新豆・錢鈔・氷新) [illegible]

◇現物(乙部) 大新・郊外 [illegible]

後場(强保合)

◇現物(當限落ち) 銘柄 當限 中限 先限(五品・新豆・錢鈔) [illegible]

◇爲替及受渡日步 [illegible]

株

內地の主力株も大暴風の後の落着きをみせて東短の五弗々引締り模樣に轉じ東短の五品又堅調を示したので當市も氣配稍好化の模樣を呈し五品五十錢高新豆錢鈔も三四十錢高に引締り穩健裡に當限納會を終つた▲五品も五月限の棒下げを演じたのでマバラは殆んど投げ盡し灰汁拔けが出來た譯であるが地場は依然として總弱氣であるから五品が三圓臺にでも戾したら今一本賣られそうな振合である▲今度の下げで買方の創痍は可なりきびしいものがあるから當分ほんとの氣直りはむづかしいとしても目先戾りを賣込んで來れば所謂二番底をつくり意外な反撥を示すかも知れない▲民營合併問題も金解禁相場の大暴風に吹き飛ばされた形であるが如何なる形式で出現せぬとも限らないから何もかも一所クタにした悲觀は禁物であらう

奧地市況(廿四日前場)

特産 ▲大豆 寄付 大引(開原・長春・哈爾賓・公主嶺 各五月限・六月限・七月限) [illegible]

▲高粱(開原・長春・公主嶺) [illegible]

▲小麥(哈爾賓 五月限・六月限・七月限) [illegible]

錢鈔(奉天現物・先限、開原現物・先限、安東期近・遠期、哈爾賓現物) [illegible]

定期 一、八四〇枚 現物 一、八二〇枚 合計 三、六六〇枚(出來高 廿四日)

前場

麻袋(續落) 産地青十六分の十三安、鐵四分の三安爲替四分の一安と續落を報じ地場亦銀票の漸落と相俟つて氣配益々軟化し先物三十八錢二三厘方の低落を示し多期共に軟弱裡に散會した引際氣配は現四十五錢三厘四月四十五錢五月四十二錢六七八月三十九錢先物三十八錢見當であつた

綿糸(保合) 米棉先物十二三ポイント高近物二三ポイント高にて相場は落付きなく政府豫想發表待ちの姿にて區々の狀態にあり大阪三品亦之に追從の態にて當市銀票の低落と共に氣乘薄く綿糸保合棉布二三錢高にて閑散裡に散會した

麥粉(出來不申)

市場電報(廿三日)

銀塊及爲替

倫敦銀塊、同先物、紐育銀塊、孟買銀塊、英米爲替、米日爲替、米支爲替 [illegible]

棉花

◎米棉(換算百斤錢安) 現物・五月・七月・十月・十二月・一月 [illegible]

◎印棉 ベンゴール・ヴローチ・オームラ [illegible]

大阪株式

銘柄 前場寄 前場引(大株新・大紡新・鐘紡新・日清紡・郵船新・東新) [illegible]

東京株式

銘柄 前場寄 前場引(東株新・東新・五品 當中先・豆新 當中先・同(短期)新東・五品) [illegible]

大阪期米

當限・中限・先限 前場寄 前場引 [illegible]

東京期米

當限・中限・先限 前場寄 前場引 [illegible]

大阪綿糸

四月～十月 前場寄 前場引 [illegible]

大阪棉花

寄付 大引 [illegible]

神戸豆粕

前場一節 場外(當限・先物、三月～八月) [illegible]

橫濱生糸

前一節 前二節(限月 四月～九月) [illegible]

印度麻袋

鐘筋直積・青筋直積・爲替相場 [illegible]

金剛呪門 (219)

山中峰太郎作　小田富彌畫

窮餘の一擊

穴藏の暗に、玄昌を氣合で壓しつけながら、おもむろに頷いた隼、息もつかずに訊問をすゝめる……

「その墓發きに、江戸の目明しから追ひかけられた者は？」

「萩原だつた。あれは私の秘藏の門弟だつたが……」

今さきに、毒藥を半身に浴びて悶絶した萩原の最期を思ひだすと、さしもの玄昌も、聲がふるへた。

「たとひ醫術の研究とはいへ、墓發きは重い罪科、沼田先生！、隼は捕繩の手前、このまゝ見逃しはできませぬぞ！」

「しかし……」

「しかし何と？」

「今は、誰も知る者はないのだ」

「すると……？」

「金剛經がそこにあらう？」

「御念には及ばぬこと、いかにも預かつて、こゝに持つてますがな」

「親分！、それと引換には？」

「へ、へ、へ、」

隼、爽かに笑ひだした。

「あゝ、いかぬと言ふか？」

「捕繩は隼の生命—まして誰も知るまいとは愚なこと、萩原が殘して行つた〇に十字の燒印の鐵、それが、ものを言ひますぞ！」

「……」

一問一答のうちに、漸く氣力を取り回した玄昌、右手にさげてる長い骨を、ヒシと握りしめた。すると、

「〇に十字は、先生の紋ですかな？、違ふやうですが……」

と、隼は反對に漸く氣力をゆるめた。

「いかにも、あれは私の紋ではない。長崎で買つた燒印を、そのまゝ使つたのだ」

「成程……」

「切支丹に緣のある者が、前に使つてゐたらしい。が、それよりも親分！」

「そろ／＼上に出ませうかな？」

「いや、親分！」

と、後の土を離れて前へ出た玄昌、隼の聲のする方を、ジツと覗ひながら、

「私が、こゝへ來ると、どうして知つてゐたのだ？逃れぬ最後に聞かしてくれぬか？」

と、觀念したらしく聲を柔げた。

「いや、それも先生から敎へられましたからな」

「なに？、私が敎へたとは？」

「土の中の小壺が、と言つておきませうか」

「あゝ、この前に？この中で？」

「いかにも此處に閉ぢこめられて逃げださうとした私が、やはり土を掘りましたからな」

「そして墓を掘りあてたとか？」

「けれども、元のとほりに埋めておきました。重い小壺、中には大分に貯まつてをりませう」

「……」

……今に緒方先生が見えるのだ

この穴藏の聲を聞いて、何とか助けの手だてを、老先生が！」

と、玄昌は俄に大聲になつた。

「いや、さすがに親分の炯眼、この玄昌も、今日こそ遲れを取つた。今は尋常に引立てられよう。が、惜まれるのは、今まで研究したオランダ醫術、これを捨てるのが、いかにも諦められぬ……」

「それは、あなた許りではありますまいに」

「えツ、何と？」

「緒方維六も同じ事を考へてをりませうがな」

「おゝ何うしてそれを？」

と、玄昌、更に愕然とした。

「いづれも同罪、こゝへ來る途中を、今頃は……」

「捕へられたとか？」

「御存じの西陣の桂五郎、あれにも手柄を立てさせてやりましたから……」

と聞いた刹那に、猛然と躍りあがつた玄昌、ハツシと大腿骨で隼へ打つてかゝつた。

映畫と演藝

滿洲映畫ニユース　情報課發賣

滿鐵情報課にては昨秋來「滿洲映畫ニユース」を製作し實費を以て希望者に頒布してゐたが、今回滿蒙の地の風情紹介を目的として大衆の興味本位に編輯し毫も宣傳臭味なく映畫劇場の營業向きは勿論學校其他青年團等の敎育資料にも絶好のものを多大の費用を惜まず製作し毎月一回新作を發表し一卷約三百米突内外として配布實費は尺數に拘らず一卷百圓で申込み所は大連東公園町南滿洲鐵道株式會社情報課及び東京市麴町區永樂町丸ビル内滿鐵東京支社運輸課である、尚現在の在庫品は左の如くである

南滿洲鐵道の守備三卷▲支那のお正月一卷▲喇嘛は踊る一卷▲第二回全日本水上競技選手權大會一卷▲多の鴨綠江一卷▲多のハルビン一卷▲クリスチエーニヤ（ハルビン聖氷上祭）一卷▲雪の滿洲處どころ一卷▲上海一卷▲高松宮樣一卷▲奉天宮殿一卷▲滿洲を拓く者二卷

パ社發聲映畫　いよ／＼到着

五月中旬より邦樂座松竹座チエーンに公開上映と決定したパラマウント社の發聲映畫第一回輸入品のうち次の三本が到着した

▲「赤色人」（假名）「ショウダウン」「忘れられた顏」を作つた名匠シエルチンガー監督リチヤード、デイツク主演にて「滅び行く民族」の傑れた姉妹篇

▲「狼の唄」ヴイクター、フレーミング監督ゲーリークーパー、ループ、ヴエレツ孃主演にて輝しい開拓時代のカリフオルニアを背景に剛健な若者と情熱の乙女による戀と冒險のロマンス

▲「支那街綺譚」（假名）ウイリアム、ウエルマン監督ウオーレス、ビアリー、フローレンス、ヴイダー孃主演にて名畫「人生の乞食」に依て再び深刻な性格俳優として面目を新にしたビアリーの第二回目の社會悲劇で支那街に巣喰ふ兇賊の首領と社交界に謳はれた名流夫人との奇しき戀愛綺譚

各興行場の面目一新　近く改築又は新築指示

大連に於ける各劇場中危險家屋と目されるものは既に大連各署で調査を終了し改築又は新築せしめるやう指示する意嚮であるが、大正元年建築した浪速館は愈改築することに決し大連警察署に許可の申請をした尚他に二、三ある模樣で興行主も自發的に改築する考へである、何分昔は寄席であつたものが時代の勢ひに驅られて内部を改め活動寫眞常設館に早變りしたものであり、當局としては將來其等の興行場は内部の構造に注意を與へ且つ一般劇場としても建築樣式を完備せしめ大大連市としてのふさはしい興行建築物にする方針であると

新進劇の御目見得狂言

新進劇木村操、松本花菱一行は二十四日うらる丸乘船神戸出帆、二十七日着乘込初日にて花々しく大連劇場で開場するが御目見得狂言は左記の如く決定した

一、喜劇　田家の朝　二場
二、悲劇　琵琶歌　六場
三、新古演劇十種の内　戻り橋　六場

觀劇料金は特等二圓八十錢、一等二圓、二等一圓五十錢、三等七十錢で前賣切符を發賣してゐる

滿鐵音樂會　春季演奏會　廿七日夜開催

大連に於ける年中行事の一として好樂家から期待されてゐる滿鐵音樂會の春季演奏會は來る二十七日午後七時から協和會館で催されることゝなつた曲目は

一、管絃樂　部員
二、マンドリン合奏　同
三、ピアノ獨奏　平田ノリ子
四、二重唱　武安望　十川慶吉
五、管絃樂　部員
休憩
六、マンドリン合奏　部員
七、中音獨唱　上利すゑ子
八、マンドリン獨奏　伊藤十五郎
九、混聲合唱　部員
十、管絃樂　部員
（高津氏指揮）

尚一般入場料は五十錢であると

はじめ會

來る二十五、六の兩日午後六時半より浪樂館に於て春季淨瑠璃會を開催する

ゆふべヤマトホテルで情報課製作の「滿洲映畫ニユース」の發表試寫會が催されたが▲十數本のうち「滿洲を拓く者」二卷が最も好評を博し大に興行價値があるといふことになつた▲そしてこのニユース發賣の宣傳に美しい支那美人のビラが用意されてある▲協和會館で新しいシンプレツクス映寫機を購入する筈だつたが内地で評判のよい高級のローヤル映寫機を購入する事になつた▲そして現在のシンプレツクス機は部分品をとりよせて根本的に修理しモーターをつけてローヤル二臺と交代に使用する筈である

映畫案内

(一) 第八千二百四十四號 (木曜日) THE MANSHU NIPPO 昭和四年四月二十五日
滿洲日報
令女界 五月
修學旅行の思ひ出
新婚旅行の思ひ出
私の生立ちの記……人見絹枝
女流十人歌集
若草 五月號
バルト海の滑走場
船中一小話
ランプの便り
外科病院
影
街頭の藝術
鑑賞畫選
昭和四年版申込〆切四月二十日
文寶館
新式 獨和大辭典
新譯 獨和辭典 ポケット版
登張信一郎著
露和大辭典
初等露西亞語文法
露西亞語讀本
露語發音指針
露西亞語書簡文
大倉書店
實業講習録
甲種商業全科の講義
最も世の信頼厚き本講義
新學期は開かれた
一ヶ年卒業
二冊で一圓
實業之日本社
實業講習會
婦人畫報
グラフイック 五月號出來!
大學生の女性觀と結婚觀
現代病患者診察録
頭痛にノーシン
星印ソース
八丁鑛業所
小學生の學習全集
各學年完成
既に全國各地に向け發送中の
三・四・五・六年生の「學習全集」は何れも
更に追加大増刷中
一二年生の學習全集も愈々出來!!
殺到の實状
熱望を默過するに忍びず
斷然決意茲に再度大増刷を斷行!!
絶好機會を逸せず此際!!至急申込あれ
一冊五拾錢
全十冊五圓
實物・書店にあり
東京神田表神保町 小學館
あふあき煉炭

張宗昌氏亡命し來れば絕對大連上陸を阻む

きのふ大場關東廳高等課長から莊氏に對し趣旨傳達

張宗昌軍は牟平の一戰利あらず劉珍年軍のために敗れて龍口に潰走し近くわが關東州內に再び亡命し來らんとする風評あり關東廳では關東州內を支那動亂の策源地と爲さしめざる事は從來より一貫せる方針にして屢內外に聲明した通りであるが、今回の張宗昌亡命の風評に際してもわが關東州內をその策源地たらしめざるは勿論、萬一亡命して來らんも上陸を阻止し嚴重取締を勵行すべく大場關東廳高等課長は三浦外事課長と協議の上二十四日午後三時六分着列車で來連、大連署應接間に高山大連、長山沙河口兩署長立會の上、元駐日公使にして亡命中の莊環珂氏を呼び出し右の趣旨を傳へると共に同四時三十分、署長室に於て新聞記者に對し左のステートメントを發表した

關東州を支那內亂の策源地と爲さしめざることは從來より一貫せる關東廳の方針にして張宗昌等の各關係者の策動に對しても周到なる監視を續け、其の疑ある場合には其の都度嚴重取締り來りたる次第なり、最近新聞其他の情報に依れば張宗昌軍は山東に於て戰敗れ或は再び關東州內に亡命し來らんとする風評專らなる處、萬一張氏等の間にかかる意圖ありとするも普通の亡命客と異なり當廳に於ては如上の方針よりして此の際之を默過することなく嚴重取締る考なり

褚玉璞、吳光新兩氏も張氏同樣に上陸を許さぬ

◇―大場關東廳高等課長語る

右に關し大場高等課長は語る 關東州を支那內亂の策源地となさしめざる事は關東廳の一貫した方針で、支那動亂のある每に亡命して來る政客に對しては特に嚴重取締つて來たが、そのうち張宗昌氏は私かにわが官憲の眼を掠め陰謀を企み當地を脫出した事は誠に遺憾に堪へなかつた、然るに張宗昌氏は各方面の情報を綜合するに劉珍年軍の逆襲に遭つて龍口に敗走し、更に再びわが關東州內に亡命するやに傳へられてゐるが、以前の關係もありまた普通の亡命客と些か異なる點あるので今回は前記の方針に基き絕對上陸を阻止すると共にまた莊環珂に對しても間違ひなき樣との旨傳へた次第である、尙右は獨り張宗昌のみならず褚玉璞、吳光新兩氏に對してもまた同樣である

張氏傭船は飛行機輸送の爲

但し目下行惱の狀態

山東の張宗昌氏は牟平城を攻略し一擧にして劉珍年軍を殲滅すべく政記公司某船を傭ひ糧食積み込みのため金州沖に碇泊せしめてゐた事は別項の通りであるが探聞するに右某船の碇泊は糧食積み込みに非ずソレを表面の理由として當地山縣通りフオード會社代理店にあつた飛行機二臺を購入の上搭載輸送の爲めにして已に人を介し交涉中であつたがその中劉珍年軍の逆襲に遭ひ潰走し張宗昌自身すらも身邊危ふくなりこの儘敗軍を收攬して再擧を圖らんか或ひは旗を捲いて亡命するかの苦境に陷つた爲め目下前記飛行機購入の問題も行き惱んでゐる狀態であるともいはれてゐる

慰問使御差遣

旅順無電所へ

【東京二十四日發電】畏き邊では第一、二遣外艦隊、旅順海軍無線電信所の各將卒御慰問の御思召から侍從武官住山德太郎大佐を御差遣の旨二十四日仰出さる、氏は來月八日頃恩賜の煙草其他を携へ約一月の豫定で各地を巡行聖旨を傳達すると

膠東宛ての電報は郵送

今朝芝罘支那電報局より遞信局に到着した電報に依ると山東方面時局のため芝罘より登州、黃縣、龍口、朱橋、平里店、萊州、沙河及虎頭崖方面へ通ずる電線は全く不通となり、滿洲より同地方へ宛てる電報は芝罘より郵便にて送達するの外なく大遲延を免れぬと

日華實業協會が強硬な決議

巴陵丸事件、排日問題に關し緊急幹事會を開き

【東京特電二十四日發】支那の排日運動は濟南事件解決前にも增して最近益々燃烈の度を加へ、沙市下流に於ける巴陵丸砲擊事件、濟南に於ける伊藤主計射殺事件等起り、救國會の如きは臺灣、琉球の奪還を主張するなど對支關係上容易ならぬ狀況にあるため日華實業協會は二十四日緊急幹事會を開き目下上京中の上海商工會議所の米里文吉氏を加へて協議の結果、左の如き強硬なる決議を行つた

決議

巴陵丸事件　巴陵丸事件は白晝公然日本國旗を揭揚せる商船に何等の理由なく大砲を發射し高級船員始め九名の死傷者を出せるは帝國を侮辱し國威を蹂躪し條約上人道上許すべからざる大暴行と云ふ可し、今や對支問題は最も重大なる危機に瀕せり此際我國は政黨政派を超越し極力一致一大決心を以て斷乎たる方針により解決を圖らざるべからず

排日問題　最近の排日貨情勢に鑑み政府は支那當局に對し引續き嚴重取締方を交涉中なるも支那官憲は表面之を承諾するのみにして何時取締の實なく、濟南事件解決に關連してなせる取極め履行する誠意なきこと瞭なり、斯く適法に決定せる國際協約を無視する支那當局に口頭又は文書の抗議をなすも寸効なきは瞭で我朝野は斷乎たる決心を以て支那政府の責任を糾彈し即時排日の終熄を期ぜざる可からず然も猶ほ排日の終熄せざる場合は我が在支商民國は共同自衛手段を構ずるの他なきに至るべし

皇太后陛下も稻を御親栽

係員準備を進む

【東京二十四日發電】天皇陛下が農事獎勵の畏き思召を以て一昨年以來の御自ら稻作を試みさせ給ふを聞し召されて皇太后陛下には御日常のすさびとして昨年來御所の後邸に三坪の水田を御新設畏くも稻を御親栽あらせられたが、今年も天皇陛下の御親栽あらせられた殘りの苗を植付遊ばされる思召で目下係員は御意を體して準備を進めてゐる

支那の海軍擴張不援助協定消滅

武器輸入、建艦も自由

【北平二十四日發電】對支武器禁輸協定は列國側より來る二十六日國民政府に通告して正式に廢棄されるが、之と同時に列國の秘密協定たる大正十一年成立の支那海軍不援助取極めも廢除される、同日以後は支那は陸海軍共に先進國より小銃彈丸に至る一切の武器の輸入をなし得ることゝなり此の結果支那が豫てより英國に[illegible]擴張に關する依賴をなしつゝ[illegible]たことが現實化し軍艦の建造及び買込み、海軍顧問の派遣など自由が實現するはずである

優勝の滿電チーム（上）

（中）山崎本社長より優勝旗を授與される芥出滿電主將（下）大スタンドに鮨詰めのファン

「米國の軍縮基礎案を全然拋棄するもの」

ギブソン氏の新聲明に對して下院海軍委員長聲明

【ワシントン二十三日發電】米國下院海軍委員會委員長ブリテン氏は海軍々縮問題に關しステートメントを發しゼネバの軍縮準備委員會に於ける米國全權ギブソン氏の演說を批評し左の如く述べた

右は一昨年ゼネバに於て日英米三ケ國海軍制限會議に對し米國委員をして協定の基礎的原則として提議せしめた處を全然

拋棄するものである、之れと同時に右は英國外交が海軍々縮問題に關し勝利を占めた事を意味する、蓋し英國政治家は米國が其の使用の目的に最も適する型の軍艦を建造し得るが如き提案には總て執拗に反對して來つた、從つて米國が艦種に依る海軍制限を提案することは難て又復會議決裂の途を辿りつゝあるもので斯くの如きは華府條約が齎らしたより以上に米國の國防に重大なる結果を齎らすものである、英國は世界各地に多數の海軍根據地を持つてゐるが他の諸國は何れもこれを持つてゐない、故に之等英國の海軍根據地を考慮に入れざる提案は[illegible]く不公平の

提案である、又若しギブソン氏にして單に軍艦のみの制限のみを提案し快速を有する巨大なる商船の軍事的價値を無視し居るならば彼は米國の有する光輝を見逃し老獪なる奪世界の外交家に籠絡せられ我米國に非常なる不利を招かしむるものである、苟くも米國の世界的地位を失墜せしむるが如き協定には米國は調印せざるを可とす

毒瓦斯使用禁止條約

【ゼネバ二十三日發電】本月の國際聯盟軍縮準備委員會は露國代表リトヴイノフ氏提出の一決議案を可決した、該決議案は各國政府に對し一千九百二十五年國際聯盟に於て成立したる毒瓦斯其の他類似の戰爭方式使用禁止條約を出來得る限り早く批准されん事を慫慂するものである

政友新幹部顏觸れ豫想

【東京特電廿四日發】政友會の幹部改選の臨時大會はいよいよ廿八日に開かれるので地方團體を背景として自薦或は他薦の運動頗る猛烈に行はれつゝあり幹部においても之が銓衡に就いて愼重なる考慮を拂つてゐるが目下最も有力なる候補者として目さるゝものは次の如くである

▲總務委員候補　秦豐助、田邊七六、熊谷直太、岡田伊太郎、植原悅二郎、井上孝哉、山田義一、岡田忠彥、土井權大、高山長幸、松野鶴平、山口恒太郎
▲幹事長候補　森恪、秋田淸、松野鶴平
▲常議員會長候補　木下成太郎、松浦五兵衛
▲黨務部長候補　田邊熊一、松浦五兵衛
▲遊說部長候補　兒玉右二
▲通信部長候補　安藤正純
▲政務調査會長候補　中村鎭、岡田忠彥

民政黨首相に會見申込

糺彈の意味で

【東京二十四日發電】民政黨は滿洲某事件の後始末並に濟南事件協定交換公文不謹愼問題及び濟南撤兵延期問題を中心として政府の失政を質すべく田中首相に會見を要求してゐるが、二十四日は首相が橫濱復興事業視察の爲め會見不能となつたので明二十五日會見承諾あるべき事を期待してゐるが若し田中首相が會見を拒むに於ては續いて幾度も會見を申込み飽く迄政府の失敗を追及し場合に依つては聲明書を發表し輿論に愬へるとしてゐる

豫想を裏切つて振はぬ打通線

貨物は四洮線に流る

支那側が滿鐵線の勢力を奪ふべく之に並行して敷設せる打通線はその豫想を裏切つて頗る不振を極めて居る、一昨年十月同線開通以來山東苦力の移住增加し通遼地方は俄に開發せられ特產物の年產十三萬噸に及んだが打通線によつて輸送せらるゝ量は僅にその一割內外に過ぎず他は全部鄭通線より四洮線に出で滿鐵線と連絡して居る打通線の輸送不振の原因は

一、貨車の型が雜多なため所要の車輛を得ることは頗る困難し最近の實例では要求以來五十幾日目に得た事實がある

一、運賃は比較的低廉であるが鐵道側は運送貨物の危險に對する責任を負はぬ、從つて荷主は貨物に對し一人の護送人を附せねばならぬのでその乘車賃を加算せば却つて運賃の多額を要する

一、諸雜費が嵩む即ち常關稅（大豆は一石につき二十九錢）を徵收され更に機關車の油差代、苦力の酒錢等をも拂はねばならぬ

以上の他種々の不便多く現制のまゝでは到底同線の存在價値として增大せしむることは不可能である

旅順第二中學と師範學堂の合併

華人教育の體系確立のため關東廳で具體案考究

旅順第二中學校の廢止論は華人教育の體系を確立する意味から師範學堂と共に關東廳學務課の研究事項として保留の形であるが、學堂と二中を合併するとせば如何に教育上に改善を加ふべしかの點に關して具體的の成案を考究中である藤田學務課長の意嚮によると第二中を廢止することは創立日尙淺きと前任者の計畫を尊重し濫に廢校することは教育上面白からず、且つ第二中學校の入學希望者の增減その他についても亦宜らくは仔細に檢討し是非の方法を講ぜねばならぬとの見解で師範と第二中を合併することに全然反對の態度ではない尙傳ふる處によると州內華人教育の體系を確立するには文政審議會の中等學校二部制教育改善に伴ひ師範學堂と第二中を合併した際第三學年から二部制を採用し甲は教員として乙は上級學校入學志望者として制度を改めてはとの說が尤も有力で稍可能性あるものとして認められてゐる

自ら議員を辭して市長に處決を迫らん

一部市會議員に強硬態度現る善處に惱む滿鐵系

大連市長選擧に絡はる被疑事件一段落の後、市會當面の問題として石本市長が推薦せんとする助役及び收入役に對し市會の大勢が如何なる態度に出るかといふ點にあるが而して市長擁護派と反對派の

分野は　既に明瞭である

が此の大勢を支配すべき滿鐵系議員の向背が最も注目せられ居る中に同系議員は孰も愼重なる考慮を拂ひ如何にすれば市民大多數の輿論に副ひ得べきかと腐心しつゝあるものゝ如くである今日まで知り得たる眞相に據れば假りに石本市長に對する輿論が反對に傾いてゐるとすれば此の市長を選擧せる議員の責は單り所謂擁護派のみならず此の

形勢を　誘致せる全議員に責任ありといふ論に對しては滿鐵系の多數は自ら之を首肯し中には此の際自ら議員を辭職すると同時に石本氏をも辭任せしめて一切を新規蒔き直さんとまで決意し居る向きもあつて或は近日中具體化するやうになるかも知れない、然しながら滿鐵系なる

立前に　於いて一致團結して此の問題の善後措置を講ずるといふことは絕對に避くる方針であつて之がため未だ相互に協議したこともないといふのは事實であつて假りに助役收入役が投票に依つて認否を決せらるゝが如き場合滿鐵系は結局自由投票を見るであらうと觀測されるが要するに同系議員が頭を惱まし居る主點は市長問題其のものであつて

此の點　が圓滑に行かねば或は助役、收入役の認否に際し其一部の意嚮か反映するかも知れないといふ狀況に在るわけである

卅日に市會招集

助役問題には觸れぬ

旬日に迫つて居る大連市會の開會は助役問題に關聯して頗る注視されて居るが、石本市長は三十日市會を招集すべく二十三日午後夫々通知の用意をなさしめた、然し今次の市會に於て市長は單に市參事會に於て審議した

一、市營住宅建設の件
一、前市長慰勞金を一般會計より支出するの件

大連警備の中隊到着

廿四日交代

第十五聯隊と交代して新たに大連警備の任に當る第九聯隊の派遣中隊は二十四日來連中隊長平原靜夫大尉は市內各方面を歷訪新任挨拶を述べた

日露水產會社創立さる

【東京二十四日發電】島德藏氏一派は例の落札漁區を以て資本金二千五百萬圓半額拂込の日露水產株式會社を設立し五月十五日創立總會を開き本店を大阪に支店を東京函館に置くことゝなつたと、重役候補は社長中川節太郎、取締役西川末吉、宇田貫一郎氏、監査役島德藏氏其の他

解禁時機の明答を

商工會議所より要求

【東京二十四日發電】貿易轉換期を控へ財界には金解禁問題再燃してゐるが政府の態度曖昧なるに鑑み日本商工會議所では廿三日常議員會を開いた結果、三土藏相の歸京を待ち藤田會頭をして藏相と會見せしめ解禁に對する政府の準備並に其の時機如何につき明確なる回答を求めしむることになつた

第二次慰問使

滿鐵山本社長の沿線慰問第二次慰問使藤根理事は三十日大連出發の

歸還隊に挨拶

旅順駐屯步兵第五十聯隊は二十五日旅順港出帆の御用船にて歸還することゝなつたので滿鐵山崎文書課長は滿鐵を代表し囑託將校佐藤少佐と共に二十四日午後二時自動車にて挨拶のため赴旅即日歸連

豫定であるが同氏は先づ慰問品を自動車に積んで旅順に赴き、更に旅順より奉天以南の各地及び安奉沿線全部を巡回する筈だと

德川義親侯出發

【東京二十四日發電】德川義親侯は汎太平洋學術會議に列席の爲め夫人、令息を伴ひ二十四日午前九時半東京驛發ジャバへ向つた

遞信局語學研究生

當地遞信局では每年管內各局所職員中より試驗に依り若干名を選拔して事業上必要なる語學研究のため上海香港方面に留學せしめてゐるが本年は遞信局田浦淸次、大連郵便局坂口石雄の兩氏之に合格し向ふ一ケ年間共に香港に派遣を命ぜられたので近く出發する筈

安田氏來連

書家安田吳竹氏は去る廿日京都發程朝鮮各地を巡遊して五月六日大連着約三十日間滯在沿線各地を視察し南支方面に赴く由なるが滿鐵竹中經理部長方に滯在する筈

辭令

【東京二十四日發電】總領事　重光葵
兼任大使館參事官（二等）命支那在勤

關東廳辭令（廿四日附）

島田ふみよ
任關東廳高等女學校教諭

人事

▲井上政信氏（兵庫縣警察部長）十四日朝起床の際腦溢血を起し應急手當の効なく逝去（神戸廿四日發）
▲藤田進大佐（第十五聯隊長）新駐劄第九聯隊長大佐名越時中氏と共に廿四日各關係筋を歷訪し離任、新任の挨拶
▲大西齋氏（東京朝日支那部長）二十四日午後二時天津丸にて上海より來連
▲エッチ、アヴェンド氏（ニューヨークタイムス北平特派員）同上

▲昨年七月極地に於て遭難したアムンゼン大佐一行があるひは死しあるひは行方不明となつた事件は當時極地探檢史上空前の悲慘事として全世界に一大衝動を與へたが▲爾來一年を閱した今日當時ゴンドラで行方も知れず流れて行つた六人のイタリヤ人は何處かで生きてゐるといひ出したものがある▲彼は當時遭難者救助のため拔群の功績を現はした露國の碎氷船クラッシン號の救助隊長サモイロヴイツチ教授である▲教授は最近イタリア號遭難調査委員會に出席して次の如くいつてゐる▲「曾て北極洋エッヂ島で難破した船の乘組員の一人がフランツヨセフ島で二年間生存してゐた事實がある、多分の食糧をもつてゴンドラで流れて行つた六人が生きてゐないと誰が斷言し得るか、彼等を探すのは人類の道德であり義務である、誰かこの資金を出して搜索を行はしむるものはないか」

本日廳報を添ふ
大連市公報號外添

特產

◇定期後場（錢建）

▲大豆（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
四月末	六二〇	六二〇	六二〇	六二〇
五月末	六八〇	六八〇	六七〇	六八〇
六月末	六三〇	六三〇	六三〇	六三〇
七月末	六三〇	六三〇	六三〇	六三〇
八月末	六四〇	六四〇	六三〇	六四〇

出來高　三十三車
▲三等大豆（出來不申）
▲豆粕（出來不申）
▲豆油（保合）（單位錢）

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	一五九〇	一五九〇	一五九〇	一五九〇
七月限	一六一〇	一六一〇	一六一〇	一六一〇

出來高　一千箱
▲高粱（強合）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
四月末	三三七〇	三三九〇	三三七〇	三三九〇
五月末	三四八〇	三四九〇	三四八〇	三四九〇
六月末	三五四〇	三五八〇	三五四〇	三五八〇
七月末	三五九〇	三六〇〇	三五九〇	三五九〇
八月末	三六二〇	三六三〇	三六二〇	三六二〇

出來高　五十六車
▲包米（出來不申）

◇現物後場（錢建）
混保（發込）寄付 六一四〇　大引 六一五〇
大豆裸物出來高　二十車
三等大豆（出來不申）
豆粕（出來不申）
豆油（出來不申）
高粱（出來不申）
包米（出來不申）

商品

後場（出來不申）

錢鈔

◇定期後場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　期近三十三萬圓　遠期五十八萬圓

◇現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	―	三五〇五	―
二時半	―	―	―
三時半	―	三三〇〇	―
出來高		銀對洋一萬二千圓	―

神戸特產物（廿四日）

銘柄	値
大豆現物	七五〇
先物	六五〇
豆粕現物	二二〇
先物	二二一
滿洲小麥	四七一
豆油現物	六五五

大阪綿糸

限	後場寄	後場引
四月	二三一九〇	二三一九〇
五月	二三八九〇	二三七九〇
六月	二三六五〇	二三五八〇
七月	二三六四〇	二三五六〇
八月	二三六〇〇	二三五五〇
九月	二三五七〇	二三五二〇
十月	二三五一〇	二三四九〇

東京株式（短期）

銘柄	五品	東新
寄値	二一四〇	一四三一〇
引値	二一四〇	一四一九〇
高値	二一五〇	一四三二〇
安値	二一四〇	一四一九〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	九二五〇	九二三〇
大新	八二一〇	八一八〇
鐘紡	二六〇八〇	二六一三〇
鐘新	一三三〇〇	一三二〇〇
日糖	不申	不申
郵船	不申	不申
東新	一四二一〇	不申

神戸期米

限	後場寄	後場引
四月	二八六〇	二八五七
五月	二九一五	二九一〇
六月	二九八八	二九七六

東京期米

限	後場寄	後場引
四月	二九三六	二九三一
五月	二九七九	二九六五
六月	三〇一三	二九九六

大阪期米

限	後場寄	後場引
四月	二八五〇	二八四五
五月	二九二一	二九一四
六月	二九八〇	二九七一

滿洲日報　朝鮮除外問題

拓殖省の管下より朝鮮を除外すべしとの運動は、朝鮮に於いて相當有力なるものとして具現しつゝあるが如くである。此の問題に就いて我等は曩に所見を述べて置いたのであるが、拓殖省官制の缺陷及び此の機會に植民地行政の大刷新を行はなかつた政府の不用意は別個の論としても、何が故に單り朝鮮のみを除外せねばならぬか、我等は其眞意を解するに苦むものである

◇

除外運動の表面の理由は、朝鮮が他の植民地と異つて特殊の歴史と事情とを有するといふ漠然たる點に在るもの〻如し、又朝鮮總督を官制上、拓殖大臣の下に置くことは、鮮人に對する威信の點から好ましくないといふ空疎なる理由もあるもの〻如くである。如何にも朝鮮は特殊の事情があらう。然し臺灣にも關東州にも、樺太にも各特異事情はある。所謂る内地延長主義は、適用し得べき地と、得べからざる地とが存することを、我等も充分に知り居るのであるが朝鮮總督を大臣以上の地位に置いて威信を保たしむる必要などいふもの不幸にして何處にも發見し得ないのである。由來殖民地長官は一見政黨に不即不離なる官僚系の人物が選任されて來た。今日まではソレも一便法であつたかも知れない、然しながら、所謂る官僚系人物が漸次凋落し行く今後に於いて、從來の如き人選をなし得るや否や。殊に朝鮮の如き、もはや軍人出身の總督を置く慣例を墨守する必要なく、大に文化政策を施行しきにあたり、總督其の人の貫目や、威信問題を云爲するが如きは餘りに時代錯誤の感なきを得ない。

悲慘支那民衆

◇

濟南事件解決交渉の一項目として、國民政府は、排日運動の取締を言明し、又事實反日會の解散を命じた。その結果は上海其他一二の反日會が、國民救國會と看板を塗り換えたばかりで天津北平等は一片の反對通電を以て之を卸け、依然として堂々と反日會でやつて居る。これは必ずしも簡單に國民政府の威令及ばずと、日本人的正直を以て解釋すべきことではない。

◇

國民救國會は支那の諺に云ふ「湯を換えて藥を換えぬ」者即ちまがふかた無き反日會そのものである。南京政府の膝下に近い處で、現に日本全權の眼の前で如何に内心傍若無人と雖もまさか反日會でもあるまいと、救國とやつたのである。濟南事件交渉成立で、一時に日貨の契約が旺盛になつた、これは、蓋し彼等反日業者にとつても歡迎すべきことで、大きな聲では云へないが、實は餘り永く反日が續いたので、商人から絞らうにも日貨の手持が無くなつて絞れない。で一寸の間休んで居る時にどしどし、日貨を買入れさせ、大儲けしと見込が附くと、又始めるのである。果せる哉、最近救國會の活動が反日會同樣となつたことに對して、吾上海總領事の抗議が提出されたではないか。この抗議に對して答へる所はチャンと筋書が出來て居る曰く「反日運動ではござらぬ。國產獎勵の爲めでござる」と。

◇

又國民政府側に排日取締に對する誠意ありや否やを知るに足る材料としては、蔣介石の秘書として多くの場合之を代表するものと見られて居る陳布雷（畏壘）が、四月六日上海時事新報に發表した所を擧げ得る。此文章は、普通の黨人の云ふが如く濟南交渉を支那側の絕對的讓歩とし、且つ「反日團體の組織と行動の如きは政府の敢えて干渉し得べき所でない」と斷言して居る。天津北平等の反日會の現在の行動はその裏書である。かくて、支那の民衆は、日貨掠奪に依つて生活する黨人と、之を民衆運動と美名して其間に漁利を博せんとする、浙江財閥及政府者との飽く無き搾取の前に、多難の人生を歩まねばならないのだ。三民主義の流行今日の如き時世に於て、一人の眞の民衆の辭を代表するものが出て來ないとは、悲慘も亦た極まれりと云ふべきではあるまいか。

死者毎日數千に上り　人の子まで食ふ

土匪横行して全く此世の地獄

陝西甘肅の大飢饉

【北平特信】陝西甘肅方面の飢饉が支那に於ても近年にない重大な事態であることは昨年秋頃先づ外國宣教師に依つて歐米に傳はりそれが支那に反響して朝野の注意を引くに至つたのは本年二、三月の頃であつた、國民政府は馮玉祥氏を委員長とする大規模の救濟委員會を設立したが從らに

聲のみ大　で實際の救

濟事業は殆ど進められてゐない、國民政府は陝甘地方旱災救濟資金を得る爲め本月十五日から關税に二分五厘の附加税を徴收することを決定したが外交關係で同日からの徴收は實行されなかつた、國民政府が内爭に沒頭して救濟事業に怠慢である一方同地方の災害は絕頂に達し甘肅の如きは此世乍らの餓饉地獄を現出し慘狀言語に絕するものがある、支那に於ける救濟事業中最大の組織を有する華洋義賑會が最近接受した在甘肅の宣教師よりの報告を讀むとその

一班を知　ることが出

來る、蘭州のランデ師は甘肅全省土匪の害を受けない所とてはないがそれでも旱災の被害重大なるに比すれば問題ではない、全省中餓死する者は日々數千人を算する、災情の最も輕い蘭州でさえ尚毎日三百人以上の餓死者を出してゐると言つて居りまたシンプソン師は糧食は殆んど完全に盡きてゐる農民の百分の八十までは種子まで食つて終つた、之が爲め人間の子供まで煮て食ふやうになつた、此の慘澹たる狀態を說明するには「甘肅は死の世界に化した」の一語で盡きる、余は現在二百人の小兒を收容してゐるが之は彼等が餓死するに非ざれば人に喰はれるからである、小兒はウツカリ

戸外に出　ることも出

來ない、土匪は猖獗しその過ぐる所犬の子一匹殘さない、今日まで餓死した者は數百萬に達し災情は益々深刻になりつゝありと報告してゐる、幾分の誇張はあつても同地方の災情が文明世界に有り得ない慘酷なものであることは確である、北平に近い綏遠包頭地方の飢饉も新聞以上に悲慘なもので最近同地方を旅行した某邦人は姉妹三人が僅か二十元の金で買はれ山西に送られるのを實見したと語つてゐる、是等の慘情を

放擲して　内爭に沒頭

してゐる南京政府の當局や地方勢力家は人道上最も嚴重な非難を受けなければならぬであらう

勢力を爭ふ　津浦線の從事員

北方側が南方に反抗

【天津特信】最近津浦線北段の從業員に不穩の形勢があると一般より注目されて居るが、その原因は津浦線總稽查官たる夏大章が南方人なる關係上南段看車役員の依賴を受け北段の看車員百餘名を排して之に南方人と替らす計畫を立てたので、北段工人の猛烈なる反對起り夏大章を逮捕して直接行動に訴へん勢ひを示したので、夏は何れにか姿を晦ましたが是を動機として北段從業員は一同其結束を固めて南方人士の勢力に對抗せんとしつゝありと

白露避難民の　第一回大會

五百名集る

【哈爾賓特信】當地にある白系露國避難民は二十一日第一實業學校で第一回の會合を催した、集まるもの約五百名多くは舊露の三色章を胸につるした勞働者風のもので議長にコロコリニコフ氏が選任され長時間に亘つて種々白露系難民の救濟策並に相互扶助に關する方法について協議された

波蘭政府代表　南京に向ふ

【哈爾賓特信】波蘭政府代表バルテリ、デ、ワイデンターリ氏は顧問クレシンスキー氏を同伴二十一日ワルソーより來哈二、三日中に南下南京に赴く筈であるが、同氏の用務は昨年波支兩國間に締結された通商條約を批准するためであると

急進的態度の　張教育廳長

【哈爾賓特信】教育廳長張國忱氏は張行政長官の信任をたのんで就任以來自己の管掌にかゝる教育方面においては勿論東支鐵道に關する總ての問題に對し急進的態度について、最近では呂督辦の對露態度を生溫しとなし自ら督辦の椅子を乘つ取らんとさへしてゐる位であるから、當地にある露支兩國の言論機關を自由に操縦して利用するは勿論呂督辦の支持者として目されてゐる政商スキデルスキー並にスビーチンに對しては大なる惡感情を抱き、機會さへあれば事をかまえて逮捕令さへ出しかねまじき勢ひなので目下奉天にある右兩氏と肩書が變つて變らぬ者は他の追隨を准さぬそのブラジル通の名

時間勵行が先だ

下積生

近來遞信局に於ては盛んにサンマータイムに就て宣傳に努めてゐるがサンマータイム決して惡い事ではないがそれよりも先づ第一改善すべきは出勤退廳の時間を規律正しくする事である、出勤時間に就ては下積の連中には相當やかましいが課長以上にでもなつたら恐らく出勤時間に出る者はあるまい、是には種々の理由があるだらうからやむを得ぬとしても退廳時間に至つては實に言語道斷である、別段の用事も無きに四時の退けを五時六時或る時は七時迄にもなる、こんな時は下積連は實際悲慘である、時計と課長の掛札と見つめながらあくびを嚙みしめ〳〵腰辨の悲哀を感じつゝある「サンマータイム」よりも「汽車に乘る氣で出勤して親の死に目に逢ふつもりで退廳せよ」となぜ言はないのですか

宮崎市議は　潔白だ

（上）大内辯護士談

過般の石本市長瀆職疲疑事件に關し、檢察局は宮崎市會議員の收賄罪につき起訴猶豫處分をなしたる旨公表した爲め世間は恰も同氏に犯罪事實あるも特に起訴猶豫の恩典にでも浴したるが如く誤解し、迷惑甚だしきにより同氏は名譽保持の爲め未だ曾て前例のない被疑者よりの抗告をなし其の救濟を求めたのである、然るに高等法院檢察局は之を棄却したとのことであるが私は其の理由を解するに苦む、元來刑事訴訟法上起訴猶豫は不起訴處分の一體樣に過ぎぬので法律家ならば證明不充分の場合同樣不起訴と見て敢て意に介せぬであらうが、世人は左樣思はぬのであるから公益を代表する檢事が事件の發表には相當考慮すべきが當然である、人の有罪とか無罪とかいふ事は獨り天皇の御名によりて行ふ裁判權のみが決定し得る事項であつて一官吏たる檢事が之を決定し得る事項ではない、檢事は只犯罪の嫌疑ある者を裁判所に訴え判決を求むる手續を爲し得るに過ぎぬ、訴へられたる被告人は裁判所に於て辯明もし、反證も出し、所謂防禦方法を盡して始めて裁判を受くる權利がある、此の權利を行使せしめず謂はゞ檢事の獨斷で恰も或る人に犯罪事實あるが如く世人を迷はす公表を爲すのは甚だしき不都合であると考へる、此の如き地位に置かれたる被疑者が自己の名譽保全の爲め上級檢察局に對し救濟を求むる爲め抗告を爲し得ることは裁判所構成法第百四十條により當然であると考へ抗告をなしたのであるが、高等法院檢察局が抗告は唯告訴人のみに與へられたる權利と解釋したのは餘りに狹きに過ぎ妥當でないと信ずる

けふの放送

滿鐵學務課　秩父固太郎　簡易支那語會話　第九十四課

1 久違久違　2 彼此彼此　3 一向好啊　4 承問承問　5 年底忙能　6 那是自然　7 您在那兒過年　8 我在這兒過年　9 怎麼不回家　10 沒工夫回家　11 這兒歇幾天　12 只歇兩天　13 怎麼這麼少啊　14 過了年更忙　15 多多的發財　16 那是很好了

（譯文）

1 久敷く御無沙汰致しまして　2 イヤお互様に　3 近頃お達者ですか　4 有難う御座ゐます（お尋ねを承けての意）　5 年末でお忙しいでせう　6 左様です（それは當然ですの意）　7 どちらで年を越されますか　8 こちらで年越し致します　9 何故家へお歸りなさいません　10 家へ歸る暇が有りません　11 こちらは幾日間お休みです　12 只だ二日間休むきりです　13 どうしてそればかりなのです　14 年が明けると尚更忙しいのです　15 たんとお儲けなさるさうだと良いですが　16 そうだと良いですが

（語彙）

1 今年　2 明年　3 去年　4 年底　5 年貨　6 對字　7 貼

（新字）

。久　。違　。彼　。此　。向　。承　。然　。只　。貼

南征雜録（1）

サンポウロ市にて　難波勝治

ブラジル（一）

時の流れが絶えず世相を變遷させて居るのはいふ迄もないが、七年振りに再訪したリオ府も海から見た昔の儘の輪廓の裡に、著しく各般の變化を釀させて居た、唯だその何れもが進歩を意味し發達を象徵する處に大なるブラジルの歩みがあつて、今まで通過して來たメキシコやペルウと異つた底力を感ぜさせる

第一に指を屈すべきは埠頭の設備とその殷盛振りだが、之れは私が大正十一年二月五日、隈部三郎氏に迎へられた時の印象を喚び起して特に痛感した所である

それにつれて交通機能中自動車の殖えた事が目に附く、之は當時百萬と稱せられた市の人口が今や百五十萬以上に增して居るといふたゞけでも成程とうなづかれる譯だが、併し亦一面北米文化の刺戟が層一層濃厚に色附けられた結果だともいへる、大勢の推移と共に私は個人的に起つた交遊上の變化を悲しまざるを得ない

最初私に南米旅行を思ひ立たせたのは曾てマカエに豪嘯して居た山縣勇三郎翁であつた、併し翁と同時に先づ會見した同胞は前述のごとく山縣翁の同志隈部三郎氏であつた、不幸に兩者とも既に死歿して故人となり隈部氏の紹介で交を締したマノエル、モンテイロ君も亦去つてミナス州の教育界に活動して居るさうだ

之には遠來の征客甚だしく淋しさを感ぜさせられたが、八月廿八日午前八時斯うした感慨を懷いて上陸した、私はルア、ダ、カリオカのリオ、ホテルに宿を定め一杯のカフエに喉をしめした後車を驅つて日本大使館を訪問した

其處にも七年間の變化の跡が數々あつて伯國獨立百年祭を機會に公使館から大使館に陞格した後の人員の異動は相當激しい、その中タツた一人野田良治君のみが昔の儘の溫容儼然と納まつて居る、併しそれも總領事から一等書記官の地位に累進した

私は有吉大使と山崎參事官とへの小村情報局長の紹介狀を持參したが、前者は大正十年瑞西で一度面會した相識なので先づ未知の山崎氏に刺を通じた、處が之も會つて見ればモウ參事官ドノでなくホヤ〳〵のアルゼンチン公使閣下とある

初對面の挨拶が濟むかすまぬに公使は「來月十七日愈任地出發と決めたので心忙しく暮して居ます」といふ、如何にもソワソワした言葉附きであつたが、未だ參事官がコビリ附いて居た私の頭にはその意味が能く判らなかつたが、アトでそれと悟つて此處數ケ月如何に自分が姿婆に遠ざかつて居たかを沁々感じた

尤も長い旅では紹介狀に就ての種々な挿話がある【寫眞上はリオデ、ジャネロ市、下は向つて左より山崎公使、有吉大使、有吉夫人、山崎夫人、野田一等書記官】

コドモページ

童話 映畫 脚本

二つの卵（六）

原作脚色 木谷利春

お老爺さん／＼お金を忘れちやいけませんよ……

太郎は大きな聲でお老爺さんを追ひかけました。そしてやつと追ひついてお金を渡そうとすると

お老爺さんは吃驚した樣な顏をして申しました……

「これは何ぢや？」

「お金ですよ」

「何に使ふものだ？」

「何つて！、パンを買つたから代金をお拂ひするんです」

「あんたの云ふ事はちつとも分らない、買ふだとか代金だとか」

暫くしてやつと思ひ出した樣にお老爺さんは申しました

あゝやつと分つた、私が小さい時分私のお祖父さんがよく聞かせて呉れたものだ……「昔お金と云ふものがあつた そして世の中のことは何もかもお金で動いた時があつた。その爲めに今考へられない樣な色々な恐ろしい事が絶えなかつた」

おかしなお老爺さんだ。太郎は目を見張つて聞いてゐました

やがて

「こんな古くさいもの何處から持つて來たのぢや、外の人に見せると笑はれるぞ！」

お爺さんはさつさと鞋をかついで行つて了ひました……

太郎は妙に思ひ乍ら兎に角お腹が空いてたまりませんでしたから、そのパンを頂きました

やがて別の通りまで來ると……

一人の老母が新しい草履を持つてちよこちよこと太郎の側へやつて來ました

まあ坊や！あんたの草履は隨分きたないのう、これをおはき……

老母は太郎のきたない草履を新しい自分の草履と交換してくれました。そしてさも滿足そうにさつさと自分の家へ入つて行きました。

太郎はまるで狐にだまされた樣でした……

さつきから不思議な事だらけの町でした。一つ一つ解き難いなぞでした

とある町角の……

大きな石のかげの涼しいところに長い長い眞白な髭をした一人の老人が坐つた儘眠つてゐました

そうだ此の人に聞いて見樣……

先刻からの妙なことだらけのこの村の事を此人に聞いて見やう、この人なら屹度教へて呉れるかも知れぬ、そこで太郎は靜かにその老人をゆり起しました

お爺さん！お爺さん……

思ひ切つてよく眠つてゐるその老人をゆり起して

さて太郎は問ひました、

「お爺さんは一體何してゐるの」

お爺さんは眠た氣な瞳をしばたゝいて

私はおまわりさんだよ、眠たかつたから眠つてゐたのさ……

「えーお爺さんはおまわりさんなの、だつてサーベルがないや」

「サーベルつて劍のことか、それは昔のことだ、昔は惡い人が居たから劍が必要だつたのだが今はそんな必要がないのだ」

動物畫報（12）

見かけのわりにおとなしい犀 その肉は食用となる

え－、今度は犀をお目にかけませう。角のある動物は大ていその角が頭の上にあるものと相場がきまつてゐますが、犀だけは頭の上でなくてお鼻の上にあるのです。しかもその角が御丁寧に鼻の上に二本もならんでゐるのがあつてまことに奇妙な格好です。現在世界に棲んでゐる犀には種類が五種ばかりあつて、その中三種がアジア產、他の二種はアフリカ產です。犀は一寸見ると如何にも獰猛な動物のやうに見えますが性質はまことにおとなしく操行は甲の部類、その肉は食用となり、角は犀角と言つて昔からお藥に使はれてゐます。

大チャンノタンケン ニドメノ（42）

ハルミチ作 ジラウ畫

大チャントイツショニ タンケンニ デテカラ テモチブサタデ コマツテヰタブルハ リスヲ ミツケテ キユウニ ゲンキヅキマシタ。

ブルハ「ワンワン」ト ホエナガラ リスノアトヲ オヒカケルト リスハ オドロイテ キカラキヘ エダカラエダヘニゲマハリマシタ。

ブルハ マスマス オモシロガツテ 大チヤンガ シキリニヨブノヲ ミミニモイレズ リスノアトヲ オヒカケナガラ モリノオクニ ハイツテイキマシタ

母國見學旅行記

なつかしい大阪をあとに…

—四月四日（第十七日）—

彌生高女旅行團 大貫ちよ

八時頃宿を出て造幣局に向つた もうそろ／＼旅の疲れも出て來たと見えて、電車の中で居眠りさへしてゐる人もある。この睡眠不足の私達を乗せてやがて天滿橋で下して呉れた。我等の日常使用する**貨幣**が如何にして出來上るかといろ／＼と想像しながら門を潜つた。清くもない淀川の流れを見て待つて居る中に交渉に行かれた先生の御報告は私達を落膽させて終つた。今日の記念日で休みだと。せん方なく聖徳太子の建てられたと言はれる四天王寺に參詣した。古い建物で大變立派である。こんな古い建物が日本到る處に澤山殘つて居る事は大なる誇りであると感じた。今度の旅行でつく／＼日本には神社佛閣の多いのに驚いた、ほんとうに日本は神の國であり**佛教**の國であると思つた。暫く休んで天王寺公園に行く、こゝは公園と言ふよりも何となく大連の小學校の運動場のやうな氣がしたのであつた。更に私達は重い足を引きずりながら大阪毎日新聞社を參觀した大廈立派な内容の充實した大新聞社であることを親切な案内と説明によつて知つた●新聞の出來上るまでの苦心、且つその敏速な事。丁度私達の行つた時に「池上朝鮮政務總監の死、後藤伯の卒倒」の號外を出した處であつた**私達**が新聞紙を見る眼と態度とに大いに反省しなければならない事が分つたやうな氣がした。一時頃其處を辭して宿に歸り出發の仕度くをして置いて阪急マーケツトに買物に行つた。目につく物のすべてが欲しくてたまらぬ、然し今はもう、十錢のお金さへ出すのが惜い時であるから皆様中々よく財布の口を締めて居られる。四時頃夕食を濟まして**下關**に向ふべくステーションに行く。心配した程の事もなく汽車に乗り込めた。五時五十分の列車で大阪に別れをつげた。さらば大阪よ！健在なれ！又いやな車中の一夜を明すのだ

白墨の粉

市内の某書店で調べたところによると▲少年少女雑誌中で最も賣れ行きのいゝのは雄辯社の少年倶樂部▲それについでは小學館發行の何學年生といふ各學年別にした雑誌、それから少年倶樂部、少女倶樂部、子供の國、子供朝日と言つた順序▲一時素晴らしい賣れ行きを示してゐた日本少年あたりは最近ぐつと下火になり、少年世界、少女世界、少女の友等もさつぱり出なくなつた▲それから桃太郎、カチ／＼山、浦島太郎などいふ幼年向きの繪物語は一時盛に賣れたものだが此の頃では餘り賣れなくなり、乘物畫報、動物畫報と言つたものが盛に賣れるさうだ

新刊教育書紹介

▲考へ方（五月號）日土講習會出發式記念増大號である（定價五十錢東京神田區一ツ橋道町考へ方研究社）

▲學校經營（四月號）學業成績等差の機縁、自己修養の意義、現代教育の破壞と建設、學士號の價値如何、國民教育に目覺めよ等の教育評論々學校經營の實際に關する研究記事、文藝等滿載（定價五十錢東京市麴町區四番町第一出版協會）

▲教育時論（四月十五日號）現代日本教育の檢討、教員の俸給値下問題、愛國心の種々相、どん底生活の悲哀其他（定價十八錢東京麴町區三番町開發社）

懸賞童話募集

一、種類

一種 尋常小學校三四年程度十五字詰八十行以內一回讀切り

二種 尋常小學一年程度、全部假名書、九字詰六十行以內一回讀切り

一、內容 滿洲の色彩豐な明るい無邪氣なもの

一、賞金

一種…甲賞十圓 乙賞五圓

二種…甲賞五圓 乙賞三圓

一、應募資格 何人にても差支なし

一、締切 五月十日限り

【注意】

◇純然たる自作に限る

◇字體は明瞭に書くこと

◇一人にて何篇應募するも差支なし

◇發送先は「滿洲日報コドモページ係」とし「懸賞童話」と朱書すること

◇原稿は一切お返しいたしません

本社懸賞當選小説 人生の曲藝 (111)

瀨野皓太作 淺枝次朗畫

夜の東京(三)

葉山百合子はすぐに頭を振つた。
「いゝえ。だけれど内村さんから今日御訊きしましたゞけですの」
みち子はそれでも、すつかりとは疑ひは消さなかつた。
「妾、どうしても不思議でなりませんわ。妾にはどうしても腑に落ちないことがありますの」
「まあ、それは一體何でせう?」
百合子は不安氣に、きゝただした。
「葉山さんが何故、日下部麗子さんだの、崔紅玉さんに、そんなに興味をお持ちだかと言ふ事ですの宛るで、葉山さんはあの方たちを存じてゐらつしやるかの様ですもの」
しかし、葉山百合子はあわてゝそれを打ち消した。
「妾は、幼い時から此の東京に育ちましたの。その上、妾は此の生活をする迄はアメリカに行つて居りましたの。それは乾度誰でも御存じの筈ですわ。
その方たちにお知り合ひになる筈がないじやありませんか」
けれどもみち子は決して彼女を全部信じる事はどうしても出來なかつたのであつた。
しかし、此の問題について穿索立てをする事は、葉山百合子を次第に不機嫌にしてゐる事に氣づくと、みち子はぴつたりと口をつぐんで了つた。
葉山百合子は再び快活になり始めて來た。
「みち子さんは、東京はお始めてゞすの」
「妾は全くの滿洲つ子ですもの」
「東京はいかがです。ずつとゐらつしやり度いとはお思ひになりませんこと」
「さあ、妾は身體が弱いもんですから、とてもこんな騒々しい街には住めさうには思へませんわ。ねえ、お兄さん、やつぱり妾お兄さんの農園の方が好い様ですわね」
「さうだ。お前にはあまり刺戟が強すぎる様だ。とても葉山さんの様な素晴らしい身體にでもならなきや、まづ駄目だな」
「あら内村さん、妾も、もう大概この東京には飽き〳〵してますの。農園生活なんて、とても素的じやありませんか」
「農園の生活が素朴だなんて言ふ人は、まだ百姓の苦しみを知らない人なんです。素的どころか、一本の樹を育てるのは、一人の人間を成長させるよりも、努力が要ると言はれてゐる位ですからね」
「だけど、吾々の様に、殊に妾共の様に、この都會の空氣を吸ひ、都會以外の所に出て、ほんとうの土を踏む事の少いものにとつては、とても羨ましいことだと存じますわ」
「ところが私共から言はせると、あの土くさい百姓着を脱ぎすてゝ、せめて一月に一度でも好い、スマートな洋服にでも着かえて、この繁華な大通りを歩いたり、愉快な素晴らしい芝居や音樂が聞けたらと思ふ事がありましたよ。しかし、どの世界に行つても、つまりは同じ事かも知れません。華やかな生活の中に浸つて、人生を思ふがまゝに享樂して渡つてゆくのも私見た様に土の中に埋もれてゐるのも考へて見れば同じ事の様にも思へますからね」
「妾は、毎晩の様に舞臺に立つてお客様の哄笑やら涙やらを、奪つてゐます。妾、つくづく考へる事がありますの、一體、どれが妾のほんとうの生活であらうかと、さう考へる事がありますの」
「あなたの仕事も、あなたが自分獨りになつて、そんな事を考へたり、時にはあなたの不思議な過去や、將來の豫想を考へたりする事など、そんなものはみんな、あなたのほんとうの生活ですよ」
「では、嘘の——ほんとうでない生活と言ふのは?」
「そんなものがある筈はありませんよ。ある人はその人が寢てゐる間に見る夢でさへ、その人のほんとうの生活だと言つてゐる位ですからね」
「ほんとうの生活」
彼女は、又小さくさう呟いた。
「では、葉山さんは、何かほんとうでない生活を持つておいでだと仰言るのですか」
内村信案は、思ひ切つて彼女の胸を鋭くゑぐつて見た。

新刊紹介

▲現代支那語講座(第一卷) 支那語を獨學したい人のために最も新しく生れた講義錄で發音、文法、讀本、作文、會話文學、論説、新聞の各章に分け何れも專門大家が擔當して極めて切實懇切に說述してあり初學者には好指南書である(發行所東京市神田區表猿樂町九、太平洋書房、非賣品)
▲東洋貿易研究(第八卷四號) 大阪市役所產業部調査課の機關雜誌として東洋貿易に關する資料を蒐集したものである(大阪市役所產業部調査課定價卅五錢)
▲赤い街(五月號) 大連市久方町五ノ七赤い街社
▲海防(四月號) 東京市麹町區永樂町一丁目一番地海上ビルデング内海防義會(定價二十錢)
▲電氣之友(四月號) 東京市芝區新幸町一番地第一堤ビルデイグ電氣の友社(定價四拾五錢)
▲優生學(四月號) 兵庫縣武庫郡香櫨園、具六六七日本優生學協會(定價三十錢)
▲優生運動(四月號) 東京市京橋區南紺屋町十二實業ビルデイング内優生運動社(定價廿五錢)
▲婦女界(五月號)「姙娠より育兒まで」と題した兒女の養育に關し有益なる記事を滿載して居る(定價五十錢東京丸ビル三階婦女界社發行)
▲支那人士錄(幸村幸夫・岡田提雄共編)一本書に收錄せる人物は主として一二年來世人の注目を惹いた人物を採み、また物故せる人をも漏らし人名の發音はトーマス、ウエード氏北京音記法によりその姓のA、C順を以て別にイロハ順及び字畫による索引を附してゐるので容易に見分る事が出來る(四六版布裝大阪毎日新聞社發行定價二圓五十錢)
▲祖國(五月號) 東京市外千駄ヶ谷町千駄ヶ谷五六二醫苑社(定價五十錢)
▲俳諧雜誌(五月號) 東京市丸の内丸ビル内俳書堂(定價五十錢)
▲古今民謠選抄(松村又一編) 本書は開吟集以後、現代作家に及ぶ民謠中よりその粹をあつめたものである(菊判版四〇九頁金一圓八十錢東京神田小川町泰文館書店)

大連汽船出帆

●青島、上海行 天津丸 四月廿六日前十一時 大連丸 四月廿九日前十一時 五月二日前十一時
●天津行 天潮丸 四月廿七日後四時 濟通丸 四月卅日前八時 濟通丸 五月三日前八時
●登州府、龍口行 龍平丸 四月廿七日後六時
●香港、廣東行 老虎丸 四月廿九日 煙臺丸 五月五日
●安東行 平龍丸 四月廿八日
●營口行 長順丸 五月七日
大連汽船株式會社 電話番號代表四一八五番
專屬荷扱店(大連市敷島町) 永和公司 電話七二七五・七八六八番

政記輪船出帆

永利號 四月廿五日芝罘行
增利號 四月廿六日上海行
純利號 四月廿七日上海行
全利號 四月卅日芝罘行
有利號 四月廿五日龍口行
廣利號 四月廿七日威海行
恒安號 四月廿五日福洲行
政記輪船股份有限公司 電話四一一四番

高橋汽船大連出帆

大連芝罘間定期船
●芝罘行 [illegible]壽丸 四月廿五日午後六時
代理店 大連加賀町三〇 鹿玉軒記 電大一一七・三八五一

社船大連出帆

●鹿兒島住の江行 臺東丸 四月
●天津營口行 南都丸 四月
●大阪行 福勢丸 四月
●函館小樽行 光盛丸 五月一日
栃木商事株式會社大連出張所 大連市山縣通一二九 電話七四一八番

日清汽船大連出帆

●青島、上海行午前九時出帆 華山丸 五月十四日 唐山丸 五月九日
代理店 大阪商船株式會社 大連支店 電話四一三七番
專屬荷客取扱店(大連市山縣通) 國際運輸株式會社 電話三一五一番

大阪商船出帆

●門司神戸(大阪行)午前十時出帆 亞米利加丸 四月廿六日 うらる丸 四月廿九日
●上海福州基隆高雄行後三時出帆 香港丸 五月二日 ばいかる丸 五月五日 はるびん丸 五月八日
●長沙丸 五月三日 福建丸 五月十四日
●盛京丸 五月廿四日
●朝鮮經由長崎鹿兒島行 關東丸 五月四日
●北米シヤトル、タコマ行(上海神戸四日市横濱經由) あふりか丸 五月十二日
●孟買行(神戸四日市横濱經由)船客お斷り あむうる丸 五月二日
●歐洲行(上海香港新嘉坡經由)船客お斷り あるぐん丸 五月一日
●天津行 貴州丸 四月廿七日 河南丸 五月四日 武昌丸 五月十一日
●横濱直行(後三時出帆) 貴州丸 五月三日 河南丸 五月十日 武昌丸 五月十七日
大阪商船株式會社大連支店 電話四一三七番
專屬船客案内所滿洲旅館協會 信濃町遼東ホテル内電四一三一番
乘船切符發賣所 大連市伊勢町 ジヤパンツーリストビユーロー 大連案内所電五五五四番
專屬荷客扱店(大連市山縣通) 國際運輸株式會社大連支店 電話三一五一番
大山通り切符發賣所 電七〇三四番
沙河口切符發賣所 東洋行内 電話九五〇六番
ニホーム荷扱所 電話四八〇二番

阿波共同汽船

●芝罘威海衛青島行 第十六共同丸 四月廿五日後七時
●芝罘、威海衛、青島行 第廿六共同丸 五月一日後七時
●芝罘、威海衛、青島行 第廿一共同丸 四月廿八日後七時
●青島行 長山丸 四月廿七日前十二時
滿鐵とは貨物聯絡取扱致候
阿波國共同汽船會社大連支店 大連市山縣通二〇〇番地 電長六八九一・五〇〇一番

日本郵船出帆

●歐洲行 但馬丸 四月 日横濱行 豐岡丸 五月十三日李浦行 松本丸 五日卅一日濱樂行

近海郵船大連出帆

●長崎、神戸、大阪、横濱行 相模丸 五月九日 玄武丸 五月卅日
●横濱行 勝浦丸 四月廿七日 玄武丸 五月三日 淡路丸 五月十八日 勝浦丸 五月廿四日
●天津牛莊行 玄武丸 四月廿五日 相模丸 五月一日 淡路丸 五月十日 勝浦丸 五月十六日
●基隆、高雄行 第二蓬萊丸 五月二日

朝鮮郵船大連出帆

●青島仁川行 會寧丸 四月廿七日
●仁川、長崎、鹿兒島行 羅南丸 五月十二日
朝鮮鐵道各主要驛及本社各寄港地貨物受證發行
右汽船出帆日時は天候其他の關係により變更する事有之候
水路圖誌(海圖)販賣所
朝鮮郵船株式會社大連代理店 近海郵船株式會社大連代理店 日本郵船株式會社大連出張所 大連市山縣通電話三七三九・七八四六番
專屬客荷取扱店 監部通(吾妻橋) 丸二商會 電話四二四六・五八八八番

島谷汽船大連出帆

●南鮮及日本各港函館小樽行 長成丸 五月八日 大成丸 五月十九日 鮮海丸 五月卅一日
●寄港地 鎮南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、萩、濱、宮津、舞鶴、新舞鶴、敦賀、伏木、函館、小樽
●各等客室設備あり
●乘貨伏木新潟行
島谷汽船株式會社大連出張所 大連市山縣通一五三
代理店 大三商會 電長四七一一・三四八二・六二二一

夕刊 滿洲日報 四月廿四日

日支條約問題公文 月末に調印交換

兩事件の樞府諮詢都合を見て 芳澤公使南京へ

【上海二十三日發電】過日假調印を終つた日支通商條約問題の照會文は北平公使館に廻附してゐたが交換照會文に調印した上本日上海の芳澤公使の手許に送り返されて來た芳澤公使は南京漢口事件の樞府諮詢の都合を見て月末頃南京に赴き正式調印文書交換の手續を取ることに決定してゐる

山東接收軍隊と引繼後の軍隊配置

芳澤公使が入手した 蔣介石氏山東警備引繼計畫案

【上海二十三日發電】芳澤公使の入手した蔣介石氏の山東警備引繼計畫案は直に芳澤公使より政府に報告されたが內容は

一、濟南及び張店以西の山東鐵道沿線は孫良誠軍其の他馮玉祥軍を以て引繼ぎ治安維持に當らしめ

二、張店以東の山東鐵道沿線は陳調元、方振武以下蔣介石系軍隊を以て引繼ぎ治安維持に當る

を大綱とし警備引繼後の軍隊配置を左の如くする豫定であると

一、濟南、龍山、淄川、張店に孫良誠軍二萬

二、第二十一師張煥英軍一萬五千を泰安、兗州に配置す

三、第二十二師崔心明軍約一萬五千を泰安、濟南に配置す

四、程大章軍約三千を濟寧に配置す

五、馬鴻逵の騎兵軍一萬四千を濟南に配置す（以上馮軍系配置）

六、顧震軍二萬、陳調元軍一萬五千を利濟、齊州、昌樂、昌邑、安邸一帶に配置す

濟南の邦人 引揚げの準備中

方軍山東入に大恐慌

【北京廿三日發電】方振武軍の山東入り說傳へられ濟南在住の邦人は同軍が濟南事件の元兇であるので頗る恐慌を來し、目下頻りに引揚げの準備中であると

州內の支那側策動 一層嚴重に取締る

けふ大場高等課長が來連して 大連署と打ち合す

宗昌氏龍口行は 濟南攻擊の準備

豫定の行動と某氏語る

某消息通の語る所によれば張宗昌氏今回の龍口行きは寧ろ豫定の行動ではあるまいかといふ、即ち日本軍の山東撤退期前において濟南を衝くべく準備行動を開始したので昌邑にある孫殿英、裹亭における黃鳳岐軍の戰線に主力を集中せしめ壽光に屯する仕吉兆軍を擊破すべく計畫されて居るのではないかと云つてゐる、尚龍口よりの通信は芝罘經由の關係上芝罘で押へられて居るらしく龍口大連間の電報一つも接手しない狀態にある

回の敗因とも認むべきは聯盟軍側に連絡が缺けて居た爲であらうと云はれてゐる尚聞く所によると宗昌氏は部下に向ひ「死んでも亡命はしない」と豪語してゐる由である

青天白日旗の 芝罘市街

芝罘方面より當地某所への報情によれば張宗昌敗亡の聲が傳はると共に又復芝罘市中は新制五色旗の影は何處へやら戶毎に青天白日旗がおし樹てられ、朝に源家を迎へ夕に平家を迎へる時代めいた悲哀に市中は滿されてゐると、しかして今の處平穩で市民一同ホツとした形であると

荻川放談（27）

策源

曾つてセメウノフは、兵をイカルに擧げ、世界大戰の與國軍が、西伯利に於て反を標榜するオムスク政府を之をして單獨不媾和訂盟にし革命の歐露モスコウ政府せしむるや、方面と目的をうする點から、彼はオムス府及び聯合與國軍に加擔しに聯合與國たる日本軍との に努む、然るに世界大戰は オムスク政府の仆るゝや、 軍が尚其處から全く撤去せ

延吉の鮮人壓迫 益々惡化す

延吉交涉署長の命で

【間島特電二十三日發】最近敦化縣內に朝鮮人壓迫事件が持ち上らんとしてゐる矢先、間島に於ても學田取上の布告が出されたので鮮農は既電の如く大恐慌を來してゐるが、延吉縣知事孫象乾氏は更に延吉交涉署長張書翰氏の密令に依り、管內の各鄕長及び農會をして支那地主の朝鮮人に對する土地賣渡し內容について嚴重な調査を行ひ歸化鮮人に對する土地所有權移動證明をも停止したが、之は非歸化鮮人を壓迫せん手段であるといはれてゐる

外相候補の 芳澤氏近く歸朝

【東京特電廿四日發】日支懸案交涉に努力しつゝあつた芳澤公使は既に大體の諸懸案解決を告げたので近く歸朝することゝなつたが歸朝の上は外相候補として擬せられつゝある

重光總領事 參事官兼任

愈よ決定す

【東京特電廿四日發】…芳澤公使が近く歸朝するのに伴ひ…で重光氏をしていよく參事官を兼任せしめることになつた

民政黨の代表が 首相と會見

對外諸問題について

【東京二十四日發電】民政黨は二十三日總務會で濟南事件解決の不諾渡、支那排日、滿洲某事件等各問題並に不戰條約等の緊急重大問題に對し政府の責任を糺すと共に其所見を訊すべく黨の代表者を田中首相に會見せしむることとした

公森財務官 上海へ

對支借款

【東京二十四日發電】大藏省では漢冶萍、江西南潯鐵路、交通其他對支借款問題につき其の解決を講究中であつたが成案を得たので公森駐支財務官は其の意を體して南京政府に對し交涉を開始するため二十九日東京發上海に赴き京政府と交涉することに決定

東京市長に 堀切氏

正式に受諾す

漁區入札契約を 破棄せしむ

契約を破棄せざれば 高壓的に行政處分す

植民地國有財産 實施狀況を視察

國有財産法適用のため

小兒保險の 具體案を作成

來議會に提出する

漁業會社を 設立

漁業組合加入のため

大同盟軍主腦者 自動車で龍口入

敗走の模樣はない 高松丸のもたらした情報

大連警備中隊 交代

關東州、滿洲方面

水野直子昏睡

天長節祝賀會

旅順驛長更迭

農業實習所生 卅名募集

州內華人教育 協議會

滿洲郵便物

小日山理事

吉川電通支局長 けふ着任

天氣豫報

大觀小觀

州内各中等學校の入學考査廢止か

來る廿日の小中學校長會議で議題の中心となる

關東州内に於ける各中學校及び高等女學校其の他の中等學校の入學考査を本年度は施行したが、各小學校側の意見によると入學試驗を全然撤廢すべしとの希望多數あり來る卅日午前十時から大連第二中學校に於て開催の關東州内各小、中學校長會議には當然議題の中心となるべく、小學校側としては今回の會議に於て果して昭和五年度も亦本年度同樣の考査試問を施行するや又は撤廢せらるゝや豫知することは本年度の小學五年生に對する教習上必要であるためこれを附議する意嚮である、關東廳學務課としては勿論意見もあるらしいが撤廢するとせば如何なる方法を講ずべきや其れに代るべき具體案の如何によつて決定する由裏である

グ公殿下御入京の日ステートメント御發表

新聞記者を御前に御召し遊ばす

【東京二十四日發電】グロスター公殿下は五月二日横濱御入港の御豫定なるが、同日霞ケ關離宮に入らせらるゝと共に殿下には特に正午都下各新聞社員一名宛を御前に召させられ親くステートメントを御發表あらせらるゝ旨二十三日接伴員より通知があつた、尚五日午後二時半より霞ケ關離宮に於て滿洲青年團より我少年團へ寄贈した旗をグロスター公殿下御自身で我少年團代表に御親授遊ばされることになつた

「花」「春」等の日本語を御存じ

御快活な船中の御生活

【東京二十四日發電】二十三日モレア號無電船上のグロスター殿下は御附武官等を御相手に運動セーターに半ズボン素足に靴と云ふ御扮裝でメゲシンボールに興ぜられ非常な御元氣であるが、側近者の談に依れば殿下には日本に關する讀書や日本語も御練習あり「お早う」「花」「春」「障子」「疊」「藝者」などの單語は御存じあり櫻には運からんも躑躅、藤、菖蒲は見らるべしと樂しんで居られると

東京に強震

【東京廿四日發電】廿三日午後十一時十五分頃東京地方に近頃稀なる地震あり時計の振子止まる程で寢ばなを襲はれた市民は驚いて戸外に飛び出した者が多かつた被害は別段ないやうであるが近頃珍しい強震であつた

澄宮葉山で御靜養

御用邸にて御勉學遊す

【東京特電廿四日發】澄宮殿下には去る一月十五日御發熱咽頭ヂフテリア症として葉山御用邸に御療養中であらせられしが昨今は殆ど御全快と申ても差支へなき御元氣にあらせらるゝも尚若干の齲存在が拜せられる爲察では種々御手當申し上げてゐる侍醫之がため殿下には中等科一年の第三學期を全休あらせられたので御用邸に教師をお招きの上御勉學遊ばされると承る

河部五郎が日活を退社

酒井米子伏見直江と實演か

【東京二十四日發電】日活時代劇最高幹部河部五郎は今回突如日活を退社して獨立する旨を聲明したが、一説には常盤座を中心に酒井米子、伏見直江其の他と提携して實演に當るとも云はれてゐる【寫眞は次郎長に扮した河部】

悶死した支人を路上に遺棄

大連署で死體を解剖

二十四日午前五時二十分ごろ大連近江町七十五番地路上に年齡五十歳前後の支那人諸葉死體あるを警邏中の近江町派出所詰吉永巡査が發見、他殺の疑ひあり大連署より星司法主任以下現場に出張し檢證した結果左腕に「王文田」の靑刺その他で同町七二左官職劉義記（五三）方より運搬したものと判明、直ちに劉義記および同居者同王德隆（二八）同周問振（三四）の三名を引致し取調べた處、死體は瓦屋根葺王文田（五三）と稱し二十三日正午ごろ右劉かた前の共同便所で苦悶し居るを市役所の糞便汲取りが發見し劉が引き取り同町一四三左官助手于華風（四七）を呼び寄せ胸部、背部數ケ所に針を打つたが遂に翌二十四日の午前五時ごろ悶死したのを前記の場所に運搬遺棄した事自白したが取敢へず劉、王、周の三名を死體遺棄とし于を針灸術違反として留置すると共に一方王文田の死因不明な爲め解剖する事になつた

復興局疑獄控訴判決

けふ言渡し

【東京廿四日發電】復興局疑獄事件に關する元復興局整地部長稻葉健之助外十名に係る瀆職事件控訴公判は廿四日東京控訴院で開廷赤羽裁判長左の如く判決を言渡した

懲役一年二箇月　元復興局整地部長　稻葉健之助

無罪　元鐵道省經理局長　十河信次

懲役八箇月　元兵庫縣理事官　宮原繁三

懲役八箇月　元鐵道省局　堤久馬

無罪　渡邊半吾

外池山秀、稻葉忠兵衛の二收賄者は執行猶豫、贈賄者側は懲役三箇月以下全部懲役三箇月　岡田直之助

場面の變化に富み興味をそゝる「金剛呪門」

本日到着し檢閲を終へ今夕封切

本紙夕刊連載中の「金剛呪門」の映畫は本日の亞米利加丸にて到着直に檢閲を濟まし愈今夕七時より協和會館に於て封切上映する事となつた、從來の劍劇物の新生面を開いたプロットの洗煉されたる變化原作者山中峰太郎氏の巧な構想は愛讀者の熱狂的感激に迎へられつゝあるが原作の良さは映畫化された場面の變化面白く主演者武井龍三は元東亞に在つて其獨特なる演技に天下のファンを沸き立たせ今回獨立プロを設立せる第一回主演作品として必死の努力を以て熱演、お京に扮する巴蝶子の劍劇振りは素晴らしく畫面に活躍し鮮明なプリントと相俟つて必ずやファンの大喝采を博するであらう

愈よ今晩七時から「金剛呪門」映畫會

滿鐵協和會館で　會費一般八十錢　讀者五十錢

主催　滿洲日報社

大連の花（二）

さくらの行進曲

南華園青柳農園から

桃林莊へ――見頃は月末頃から

大連の櫻のバロメーターとなつてゐる電氣遊園の櫻が、花吹雪となつて散り敷く頃、青柳農園の櫻花が一目千本の花霞を棚引かせます、可成り古い歴史を持つ此處の櫻は吉野櫻の一重咲きで、古木の多い事と、木の密接してゐるのを誇りとしてゐるだけに滿開時の眺めは確に見ものです、背後の山から見下した雪のやうな花團、息づまるやうな花いきれの中に花とんねるの下から見上げた密雲のやうな萬朶の花片は人々を春の謳歌に亂舞させずには置きません。

◇

昨年は四月の廿七八日頃でしたが今年はズツト遲れて五月七日から九日頃が滿開でせう、木の數ですか？郊外土地が此の附近を住宅地にしたので、道路などにとられて昨年より四五百本位減り、ザツト千五六百本もありませうか、然し今年は非常に澤山蕾がつきましたから、一般に花は去年より見事でせう。

◇

向陽門で電車を捨て、みどり溢泉の鏑を中央公園に入ると、南華園の吉野櫻が、散歩客に美しい微笑を投かけます、此處のはみんな若木で前庭、後庭合して約百本餘り、南の茶寮の周圍にも本年大分移植されてゐます、昨今蕾も大分含らみ、二十七八日頃が滿開の見込みで、樹間に點された雪洞式の電燈の仄かな光に照らし出された夜櫻は床しい大和繪の儷しさが想はれます

◇

光風臺の電車停留所の南、約十間、緑色の木橋を渡つて東へ山の裾にかゝつたところに荒木伊平氏の桃林莊があります、此處の櫻も矢張り吉野の一重で古風な日本式庭園に、石燈籠や、泉水、築山等に配して十本の古木があります、五六年前までは滿開時には茶店等も出て花見の客で賑つてゐましたが、茲數年來は花も以前程ではなく、花見の足も減り、只清楚な雅致を愛する人々が賞玩するに留まつて浮き〳〵した花見酒の相手でなく、詩歌の友となつてゐます、目下のところ蕾は稍固く、滿開は多分今月末から來月初めでせう（寫眞は南華園の花）

早大辛勝

早明第一回戰

【東京廿四日發電】早大對明大留守軍野球第一回戰は二十三日午後三時十分神宮球場に明大先攻にて開始明大は鬼塚井川・早大は松木宮脇のバッテリーで戰ひ三回目に明大一早大二・六回目に明大一を得たる後は双方とも防禦堅くして得點なく八回に至り早大は昨日對法政戰に腕を見せた新進小川投手を立て補回戰に入り十回明大は二死滿壘のチャンスを失した後早大一點を得て辛くも三Ａ對二で勝つ閉戰五時十分

撞球選手試合

廿七日に旭軒で

來連中の小原の撞球選手村儀・廣野兩氏は市內各所に於てコーチ及び試合を行つたが廿六日は旅順に赴き廿七日午後七時から大連若狹町旭軒に於いて大連の高點者野口・武重兩氏との間に四つ球千點三つ球二百點・スリークツシヨン十點及びボークラクンの各ゲームを行ふことになつた・尚ほ大連の試合は之を以て打切り二十八日村儀氏はラヂオ放送をなし二十九日から沿線各地を巡歷することになつた

夏期時制を各方面に照會

一致して希望すれば

關東廳で實施の告示

サンマータイム實施に就ては各方面に及ぼす影響少からざるを以て關東廳では二十四日大連ロータリー倶樂部、同水曜會、大連、奉天、長春の各商議、關東軍司令部參謀長、海軍駐在武官等各代表方面に照會を發したが、愈各方面とも之れを希望するにおいては六月一日より九月三十日迄現行標準時を日本の中央標準時に改めて實施の告示を發する筈である

馬車夫が生埋め

一名即死　二名重傷

二十四日午前十一時十分頃市內榮町合資會社大連連鎖店建築場內東端の工事場に於て掘鑿中の土が壞れ落ち同工事請負千輪工務所使用馬車夫（姓名不詳）三人が下敷と爲り內一名は發掘の遑なく即死し他二名は重傷を受けて宏濟病院へ擔ぎ込まれた

千山驛近く馬賊出沒

守備隊が出動

【奉天特電廿四日發】二十四日午前十一時頃千山驛の東方を距る一里の地點に約二十名より成る馬賊團が現はれ直ちに討伐に向つた支那巡警と目下交戰中である急報により大石橋の獨立守備隊出動し現場に急行した

長女を連れ人妻家出

自殺すると遺書を殘して

原籍山口縣豐浦郡豐田下村當時沙河口臺町二二瓦斯會社員祐之の妻本田ヨネ（三）は二十二日午後自殺する旨の書置を殘し七歳になる長女を連れて家出した、原因は夫祐之が常に素行收まらず暴飲流連の狂態の限りを盡してヨネを虐待するに愛想をつかしたものらしい

南船北馬

◇……支那側では故孫文氏の記念碑を建設するために其の材料として復州より印石の石材を奉天に輸送してゐる【瓦房店發】

◇……本年莫斯科の共産黨大學を卒業するものは全部で二百四十名でその內支那人四名朝鮮人一名である、尚本年度の新入學生を募集してゐるが、支那人鮮人の志願者が多いと【哈爾賓發】

◇……張學良氏主催の小河沿公共體育場に於ける華北聯合大運動會は五月廿二日舉行に決定【奉天發】

◇……世界に於けるラヂオ受信セツト所有者數は七千萬人と見積られてゐる【壽府發聯合】

金剛呪門 (219)

山中峰太郎作　小田富彌畫

窮餘の一撃

穴藏の暗に、玄昌を氣合で壓しつけながら、おもむろに訊問をすゝめる隼、息もつかずに頷いた……

「その墓發きに、江戸の目明しから追ひかけられた者は?」

「荻原だつた。あれは私の秘藏の門弟だつたが……」

今さきに、毒藥を半身に浴びて悶絶した荻原の最期を思ひだすと、さしもの玄昌も、聲がふるへた。

「たとひ醫術の研究とはいへ、墓發きは重い罪科、沼田先生!、隼は捕繩の手前、このまゝ見逃しはできませぬぞ!」

「しかし……」

「しかし何と?」

「今は、誰も知る者はないのだ」

「すると……?」

「金剛盤がそこにあらう?」

「御念には及ばぬこと、いかにも預かつて、こゝに持つてますがな」

「親分!、それと引換には?」

「へ、へ、へ」

隼、爽かに笑ひだした。

「あゝ、いかぬと言ふか?」

「捕繩は隼の生命!まして誰も知るまいとは愚なこと、萩原が發して行つた○に十字の燒印の鐵、それが、ものを言ひますぞ!」

「……」

一問一答のうちに、漸く氣力を取り回した玄昌、右手にさげてる長い骨を、ヒシと握りしめた。すると、

「○に十字は、先生の紋ですかな?、違ふやうですが……」

と隼は反對に漸く氣力をゆるめた。

「いかにも、あれは私の紋ではない。長崎で買つた燒印を、そのまゝ使つたのだ」

「成程……」

「切支丹に緣のある者が、前に使つてゐたらしい。が、それよりも親分!」

「そろ〳〵上に出ませうかな?」

「いや、親分!」

と、後の土を離れて前へ出た玄昌、隼の聲のする方を、ジツと窺ひながら、

「私が、こゝへ來ると、どうして知つてゐたのだ?逃れぬ最後に聞かしてくれぬか?」

と、觀念したらしく聲を柔げた。

「いや、それも先生から敎へられましたからな」

「なに?、私が敎へたとは?」

「土の中の小壷が、と言つておきませうか」

「あゝ、この前に?この中で?」

「いかにも此處に閉ぢこめられて逃げだそうとした私が、やはり土を掘りましたからな」

「そして壷を掘りあてたとか?」

「けれども、元のとほりに埋めておきました。重い小壷、中には大分貯まつてをりませう」

「……」

……今に緒方先生が見えるのだ。この穴藏の聲を聞いて、何とか助けの手だてを、老先生が!

と、玄昌は俄に大聲になつた。

「いや、さすがに親分の眼、この玄昌も、今日こそ遲れを取つた。今は尋常に引立てられよう。が、惜まれるのは、今まで研究したオランダ醫術、これを捨てるのが、いかにも諦められぬ……」

「それは、あなた許りではありますまいに」

「えッ、何と?」

「緒方維六も同じ事を考へてをりませうがな」

「おゝ何うしてそれを?」

と、玄昌、更に愕然とした。

「いづれも同罪、こゝへ來る途中で捕へられたとか?」

「御存じの西陣の桂五郎、あれにも手柄を立てさせてやりましたがな……」

と聞いた刹那に、猛然と躍りあがつた玄昌、ハツシと大腿骨で隼へ打つてかゝつた。

映畫と演藝

滿洲映畫ニュース　情報課發賣

滿鐵情報課にては昨秋來「滿洲映畫ニュース」を製作し實費を以て希望者に配布してゐたが、今回滿蒙の地の風情紹介を目的として大衆の興味本位に編輯し毫も宣傳臭味なく映畫劇場の營業向きは勿論學校其他青年團等の教育資料にも絶好のものを多大の費用を惜まず製作し毎月一回新作を發表し一巻約三百米突内外として配布實費は尺數に拘らず一巻百圓で申込み所は大連東公園町南滿洲鐵道株式會社情報課及び東京市麹町區永樂町丸ビル内滿鐵東京支社運輸課である、尚現在の在庫品は左の如くである

南滿洲鐵道の守備三巻▲支那のお正月一巻▲喇嘛は踊る一巻▲第二回全日本水上競技選手權大會一巻▲多の鴨綠江一巻▲多のハルビン一巻▲クリスチエーニヤ(ハルビン聖氷上祭)一巻▲雪の滿洲處どころ一巻▲上海一巻▲高松宮様一巻▲奉天宮殿一巻▲滿洲を拓く者二巻

各興行場の面目一新　近く改築又は新築指示

大連に於ける各劇場中危險家屋と目されるものは既に大連各署で調査を終了し改築又は新築せしめるやう指示する意嚮であるが、大正元年建築した浪速館は愈改築することに決し大連警察署に許可の申請をした尚他に二、三ある模樣で興行主も自發的に改築する考へである、何分昔は寄席であつたものが時代の勢ひに驅られて内部を改め活動寫眞常設館に早變りしたものであり、當局としては將來其等の興行場は内部の構造に注意を與へ且つ一般劇場としても建築樣式を完備せしめ大大連市としてのふさはしい興行建築物にする方針であると

パ社發聲映畫　いよ〳〵到着

五月中旬より邦樂座松竹座チエーンに公開上映と決定したパラマウント社の發聲映畫第一回輸入品のうち次の三本が到着した

▲「赤色人」(假名)「ショウダウン」「忘れられた顔」を作つた名匠シエルチンガー監督リチヤード、ディツク主演にて「滅び行く民族」の傑れた姉妹篇

▲「狼の唄」ヴィクター、フレーミング監督ゲーリークーパー、ルーペ、ヴエレツ孃主演にて懐しい開拓時代のカリフオルニアを背景に剛健な若者と情熱の乙女による戀と冒險のロマンス

▲「支那街綺譚」(假名)ウイリアム、ウエルマン監督ウオーレス、ビアリー、フローレンス、ヴイダー孃主演にて名畫「人生の乞食」に依て再び深刻な性格俳優として面目を新にしたビアリーの第二回目の社會悲劇で支那街に巣喰ふ兇賊の首領と社交界に謳はれた名流夫人との奇しき戀愛綺譚

新進劇の御目見得狂言

新進劇木村操、松本花菱一行は二十四日うらる丸乘船神戸出帆、二十七日着乘込初日にて花々しく大連劇場で開場するが御目見得狂言は左記の如く決定した

一、喜劇　田家の朝　二場
二、悲劇　琵琶歌　六場
三、新古演劇十種の内　戻り橋　六場

觀覽料金は特等二圓八十錢、一等二圓、二等一圓五十錢、三等七十錢で前賣切符を發賣してゐる

滿鐵音樂會 春季演奏會　廿七日夜開催

大連に於ける年中行事の一として好樂家から期待されてゐる滿鐵音樂會の春季演奏會は來る二十七日午後七時から協和會館で催されることゝなつた曲目は

一、管絃樂　部員
二、マンドリン合奏　同
三、ピアノ獨奏　平田ノリ子
四、二重唱　武安望　十川慶吉
五、管絃樂　部員
休憩
六、マンドリン合奏　部員
七、中音獨唱　上利すゑ子
八、マンドリン獨奏　伊藤十五郎
九、混聲合唱　部員
十、管絃樂　部員
(高津氏指揮)

尚一般入場料は五十錢であると

はじめ會

來る二十五、六の兩日午後六時半より遊樂館に於て春季淨瑠璃會を開催する

楽屋雀

ゆふべヤマトホテルで情報課製作の「滿洲映畫ニュース」の發表試寫會が催されたが▲十數本のうち「滿洲を拓く者」二巻が最も好評を博し大に興行價値があるといふことになつた▲そしてこのニュース發賣の宣傳に美しい支那美人のビラが用意されてある▲協和會館で新しいシンプレツクス映寫機を購入する筈だつたが内地で評判のよい高密のローヤル映寫機を購入する事になつた▲そして現在のシンプレツクス機は部分品をとりよせて根本的に修理しモーターをつけてローヤル二臺と交代に使用する筈である

滿洲日報

□水路の五月……北原白秋
□小さき妹……西條八十
□おそ春雜詠……今井邦子
□春よさよなら……竹久夢二
□春宵愛……生田蝶介
□山の五月……前田夕暮
□愛と結婚……帆足理一郎

▽座談會 卵巣
本間醫學博士 岩崎雄子 加藤まさた
▽湖上舟遊

令女界 五月

本號の創作

修學旅行の思ひ出

愛のメ風景……佐々木味津三
日曜日の招待……鈴木善太郎
風爽かに……加宮貴一
メロに訊いて御覧……龍膽寺雄
父の上京……保高徳藏
都會の情熱……谷崎精二
眞珠の箱……北村壽夫

石濱金作 三宅やす子 阿佐緒 原 大木篤夫 大田黒月子 市田冴光

新婚旅行の思ひ出

□手紙の書方……岡崎英夫
□五月の投入花……磯野友道
□チヨコレート……内田誠
□手藝講座……千種中子
□呼吸器病……小林博士

■ウーマンレビュー 女性界の時事 花嫁の支度等
■散歩 私の受驗記、修學旅行記、全國女學校歌 新婚旅行好適地……谷口梨花

映畫 レナ・スミス 花骨牌 思ひ出 ニユース

定價四拾錢 送料金二錢

私の生立ちの記……人見絹枝

女流十人歌集

美しき十の星は夕空に輝初めたり――

新裝なった裝幀

庭花集……今井邦子
靑光集……原阿佐緒
新旅集……茅野雅子
愛慕集……若山喜志子
春秋集……與謝野晶子
眞珠集……中原綾子
愛兒集……中河幹子
櫻花集……岡本かの子
星夜集……柳原燁子
葛花集……水町京子

若草 五月號

歌――茅野雅子・四賀光子・中河幹子・清水千代

小品五篇 五月の野花……西澤隆二 蝦店……山本和子 夜の來訪者……松本日佐子 ペトルカシユカ……山岡眞珠 蒸汽車……高下鐵次

海外藝術ニユース・世界科學ニユース

來朝近きガリクルチに就て……藤浦洸

お組(推薦)……兩本正雄

片岡鐵兵 三宅やす子 江馬修 北川千代

バルト海の滑走場……中河與一
船中一小話……北川千代
ランプの便り……牧野信一
外科病院……江馬三枝子
影……池谷信三郎

讀者・詩 詩の愛情……河井醉茗 をとめの死……今井邦子 くろがれの扉……室生犀星 棘のある集……大木篤夫 武藏野にて……安成二郎

藝術・鑑賞 文學……大宅壯一 演劇……村山知義 美術……木村莊八 音樂……小松耕輔 映畫……内田岐三雄

街頭の藝術……森口多里

定價金二十五錢 送料金一錢五厘

鑑賞畫選

昭和四年版申込〆切四月二十日

目下豫約募集中 豫約特價金四圓 内容見本贈呈

東京市日本橋區本銀町三ノ十四 寶文館

新式 獨和大辭典

登張信一郎著 三六判函入 二三七〇頁 總皮特價 五・〇〇(定價六・五〇) 總革特價 五・八〇(定價七・五〇)

「獨和は登張」新學期大特價提供!! 特價締切 五月廿日

頁數は多い語數は無慮十有餘萬を算してゐる熟語も網羅してある。が之丈では從來の辭書を唯量に於て擴大したに過ぎないのであるが、獨逸最新の編成法に則りて、同意義の獨語を挿入して語義を明確にし、反義の獨語と同義の英語とを加入し進んで語源語根の解釋までを添へたのが本大辭典である。發賣以來嘖々たる好評を博し「獨和は登張」の語を斯界に有する本書を備ふるに絶好の機會は今!逸する勿れ。

東京日本橋區南茅場町 大倉書店 振替東京二三八番

第壹百版

新譯 獨和辭典 ポケット版

登張信一郎著 袖珍判總革 一一二八頁 特價二・八〇(定價三・〇〇) 送料・一八

一般の大辭典を凌駕する堂々たる内容

著者は本邦獨逸語學界の最高權威、豐富なる語數、正確なる譯語、熟語の饒多なる優に一般の大辭典を凌ぎ、單に大形辭典の抜萃或は縮圖に過ぎざる他の所謂小辭典とは全然異り獨自の長所特色を具備してゐるのが我が「新譯獨和」である。學生諸君!獨逸語研究の諸賢!本辭典こそ携帶用として至上たるばかりでなく、實に書齋裡に於ても完き効用を發揮する辭書である。

東京日本橋區南茅場町 大倉書店 振替東京二三八番

第四拾版

新譯 露和大辭典

本邦唯一の實用大辭典!露語研究者、ソビエット聯邦研究者の最良顧問!(特價提供)

鈴木於菟平 八杉貞利 松本圭亮 共譯 三六判函入 クロース裝 一、六七〇頁(定價七・五〇) 特價七・〇〇 送料・二七

改訂 露西亞語學階梯 八杉貞利著 特價一・八五 送料・一八
初等露西亞語文法 八杉貞利著 特價一・七〇 送料・一六
初等露語讀本 八杉貞利著 特價一・七〇 送料・一六
日本人用 露語發音指針 トドロウイチ著 特價一・七〇 送料・一六
露西亞語書簡文 普通用文 トドロウイチ著 特價一・七〇 送料・一八
露西亞語書簡文 商業用文 トドロウイチ著 特價二・四五 送料・一八

東京日本橋南茅場町 大倉書店 振替東京二三八番

實業講習録

一ヶ年卒業

總裁 澁澤榮一 會長 增田義一

二册で一圓

甲種商業全科の講義

◇いよ〳〵新學期は開かれた!!

小學校を出て實務に就かれる人々よ、諸君の友人は中學に商業學校に皆それ〴〵の道に進んでゐられることでせう。漫然と日を送ってゐると取り殘される!諸君は獨學自習によって是非とも立身出世の道を開かねばならない。

新學期からの講義は其日から役に立つと共に文部省商工會議所の檢定試驗で甲種商業卒業の資格が得られる

最も世の信頼厚き本講義は、現代社會の最高權威である澁澤子爵及び增田實業之日本社長が學界一流の教授博士と共に自ら講義を擔當され、又全國實業界の名士有力者はあらゆる點について指導後援の任に當られます。

科目と受持講師

科目	講師
商業要項	内池博士
經濟學	河津博士
商業英語	岡田教授
商業簿記	岡田講師
銀行簿記	太田教授
工業簿記	吉田教授
商品學	星野講師
商業地理	平井教授
商業歷史	野村教授
商業算術	柳林教授
珠算	村田講師
商店實務	依田講師
商店裝飾	山中講師
廣告術	井湖講師
商業心理	上野學士
商業文	杉山教授
普通文	杉山教授
商用習字	西脇講師
工業常識	秋保教授
工業實務	渡邊博士
法制講義	三瀦博士
經濟講義	守屋教授
代數學	住江教授
幾何學	鷹野博士
物理學	末松教授
植物學	雨宮教授
動物學	横田博士
生理學	鈴木博士
鑛物學	飯高教授
化學	田丸博士
物理	澁澤會長
實驗經濟	增田講師
修養講座	草門學者
科外講義	名士實際家
名士講話	

學費一ヶ月一圓八十錢 三ヶ月一圓二十錢 六ヶ月一五圓三十錢 一ヶ年一九圓六十錢 内容見本すぐご覽下さい。葉書で一寸と申越し次第お送りします。

東京京橋南紺屋町 實業之日本社 帝國實業講習會 振替東京四〇一六番

星印ソース

御用聞きの口上

星ソース―ヘイ畏りました。ヘイ大壜と小壜とがございますがあれは少しでよくきゝますから小人數様なら小壜で如何ですか。尤も星ソースはおけばおく程味がよくなりますから大壜が一層お徳です。値段は?こんな有名品は一錢も余計に口銭を頂けませぬ。お向ひもお隣も御近所一体に皆それでお願してをります

總入賣元 株式會社 伊藤商店 大阪市東區安土町四丁目

★03

鑛山の調査、鑑定、經營 工業原料用鑛物賣買 並鑛業に關する一般事務

大連市兒玉町四番地 八丁鑛業所 電話六五四四番

婦人畫報

五月號出來!

グラフイツク

○春の流行婦人服(原色版)
○未來派の室内裝飾(原色版)
○各宮殿下の御動靜
○ホーム、スキート、ホーム
○名流の家庭
○陽春の髮形その他いろ〳〵

令孃畫報

◇花くらべ ○季節の出花その他
◇明るき瞳 ○櫻!櫻!
◇人生の春 ○路上の新流行
◇爛漫の春 ○趣味と夫人
◇春滿らず ○樂壇の明星
○其他數十葉満載!

春の女性に延る誘惑の魔手……飯島三安
警視庁不良少年係
樂壇近事一問一答……伊庭孝
英國皇太子は何故御獨身か……小山莊一郎

大學生の女性觀・結婚觀

◇各大學新進教授の鋭い觀察と◇各大學學生の僞らぬ記述◇

○大學生達と結婚……早大教授・今和次郎
○當世大學生氣質……麻生豐
○レヰウ的要素……慶大教授・小島政二郎
○功利的女性觀……中大教授・廣井辰太郎
○彼等はこう考へる……明大教授・畑耕一
○容貌風采は第二義……日大教授・松原寛
○六つの結婚條件……商大生・神田五郎
○僕の好きな女性……帝大生・濱田毅二郎
○結婚を相手を選べば……早大生・高杉二郎

定價八十錢・送料二錢五厘・各書店にあり
東京市京橋區疊町一番地 東京社 振替東京四九〇〇番

現代病患者診察録

昭和時代の流行病たる現代病の病源?誘因?症狀?豫後?療法?

○浪費病患者……高田義一郎 ○就職難病患者……松長昭夫
○流行病患者……宍戸左行 ○浮浪性患者……沖野岩三郎
○船來熱患者……大辻司郎 ○サイノロ患者……生方敏郎
○夫戀病患者……高木角戀坊 ○舞踏病患者……井上猛夫
○藝術病患者……北村小松

創 長篇小説 壞れた殿堂……岡田三郎
短篇 萎れた花……東條紫郎
作 長篇小説 黑い結婚……近藤經一
短篇 或遺族……安井千鶴子

福田會に活躍する婦人
モンパリに出る女の生活

服裝・美容・流行・其他
○セルと帶の流行
○春服の萬服と下駄
○ハンド、バツク
○手と足の爪の手入
○初夏の婦人服
○面白い千代紙人形
○變形のクツシヨン
○春の料理その他

●ノーシン ノーシン「頭痛にノーシン」●

小學生の學習全集

各學年完成

既に全國各地に向け發送中の三、四、五、六、年生の「學習全集」は何れも更に追加大增刷中

未配本の一、二年生の學習全集も愈々出來!!

目下極力配本中、一兩日中には全部の豫約者に配本す

全學年揃って人氣愈々沸騰

〆切後の今日續々尚申込み殺到の實狀

本社は此の如き大多數愛讀者の熱望を默過するに忍びず

斷然決意茲に再度大增刷を斷行!!

絶好機會を逸せず此際!!至急申込あれ

申込遲れの方の爲め、特に申込みに應じます

一册五拾錢

全十册五圓・一時拂四圓七十五錢

實物・書店に又は本社にあり

東京神田表神保町 小學館 振替東京四五一〇七

目下大流行の あふあき煉炭

○經濟で便利な ○製造發賣元 電話四五八六番 大連若狹町一六九 林木炭店

五月二十七日迄に皇軍撤退を完了

廿三日の參謀本部時局會議で支那問題對策決定す

【東京二十三日發電】參謀本部では二十三日午前九時より時局會議を開き鈴木參謀總長以下次長、各部長、關係各課長出席し支那問題につき意見交換の結果、大體左の如く意見の一致を見たので夫々關係方面と連絡を執る處あつた

山東警備引繼問題

馮玉祥は本問題につき今直ちに蔣介石と衝突するの不可なるを察し當分隱忍せんとするものゝ如く又山東雜色軍も南京政府と連絡せんとして交渉しつゝあり加ふるに南京政府系の行政官は既に山東鐵道沿線要地に逐次入込みつゝあり、現下の情勢は警備引繼ぎに好都合に展開しつゝあるを以て外交當局と連絡し支那を督促して五月二十七日迄に撤退完了すること

伊藤主計狙擊問題

當時濟南全般の警備上の責任は支那側に在りし關係上此の責任は飽く迄支那側にあるが故に、此の責任を問ふと共に撤退後の警備につき特に支那側に注意を促し萬全を期すること

張氏萬一を慮り食糧品積込を命ず

某船を金州方面に廻航

窮地に陷し入れられた張宗昌氏の今後の進退に關しては一般注視の的となつてゐるが、芝罘に入城した張氏がこのまゝ沈默することはよもあるまいといはれてゐる折柄、二十三日午後某所への情報によると、張宗昌氏はさきに萬一を慮り傭船したる政記公司所有某船を金州方面に廻航せしめ食糧品を積込むべく命令を下したと傳へられてゐる、即ちこの一事を見ても張氏が更に勇躍再擧を圖る意志あることは明瞭で、傳へらるゝが如く簡單に大連に亡命する樣な事は萬あるまいと云はれてゐる、而して二十三日入港の海壽、第二十六共同丸にて來連したる張宗昌氏部下の談を綜合するに張氏は再起の意志ありと觀測さる

張氏傭船は飛行機輸送の爲

但し目下行惱の狀態

山東の張宗昌氏は平城を攻略し一擧にして劉珍年軍を殲滅すべく政記公司某船を傭ひ糧食積み込みのため金州沖に碇泊せしめてゐた事は別項の通りであるが探聞するに右某船の碇泊は糧食積み込みに非ずソレを表面の理由として當地山縣通りフォード會社代理店にあつた飛行機一臺を購入の上搭載輸送の爲めにして已に人を介し交渉中であつたがその中劉珍年軍の逆襲に遭ひ潰走し張宗昌自身すらも身邊危ふくなりこの儘敗軍を收攬して再擧を圖らんか或ひは旗を捲いて亡命するかの苦境に陷つた爲め目下前記飛行機購入の問題も行き惱んでゐる狀態であるともいはれてゐる

芝罘居住邦人に避難を命ず

廿三日森岡領事から

【北平廿三日發電】張宗昌軍幹部は急遽大連に逃れんとし家族は既に昨夕出帆の共同丸で避難し、市中の人心動搖し廿三日森岡領事は內外居住邦人に避難を命じた

關東州での策動嚴重取締る

張氏亡命し來るとも

張宗昌氏の敗北說傳へられると共に關東廳では張氏の進退に關しては種々注目してゐるが、當局では今後假令張宗昌氏が大連に亡命するが如き事あるもこの關東州內を動亂の策源地となる樣な事實に對しては斷然これを取締まると、なほ廿三日午後寺田大連水上署長は打合せのため關東廳に赴いた

吳氏龍口へ

廿三日午後某所への情報によると張宗昌氏の芝罘陷城と共に吳光新氏は黃縣山より龍口に出たと

膠東宛ての電報は郵送

今朝芝罘支那電報局より遞信局に到着した電報に依ると山東方面時局のため芝罘より登州、黃縣、龍口、朱橋、平里店、萊州、沙河及虎頭崖方面へ通ずる電線は全く不通となり、滿洲より同地方へ宛てる電報は芝罘より郵便にて發送するの外なく大遲延を免れぬと

國別移民割當法實施延期案

米上院で握潰し

【華府二十三日發電】米國上院移民委員會は本日四對二を以てフーバー大統領の提出した國別移民割當法實施延期案の無期限採決延期を議決した、從つて該案は握り潰しに遭つた形である

毒瓦斯使用禁止條約

【ゼネバ二十三日發電】本月の國際聯盟軍縮準備委員會は露國代表リトヴィノフ氏提出の一決議案を可決した、該決議案は各國政府に對し一千九百二十五年國際會議に於て成立したる毒瓦斯其の他類似の戰爭方法使用禁止條約を出來得る限り早く批准されん事を慫慂するものである

北支那赤化を馮氏が密約

ロシヤと結んでばれる　然し本人は知らぬと打消す

【奉天特電二十三日發】本年二月初めに勞農政治分會より支那赤化に關し東洋駐在各領事、政治分會軍事分會に訓令を發したるが、計らずして今回南京政府にその訓令密書が入り、その訓令の內に馮氏が勞農ロシヤと密約を結び北はロシヤより南天津に到る間の北支那赤化宣傳計畫を爲し必要に應じ食糧、武器、彈藥の供給を爲す旨記しあり、馮氏と連絡あることが知れ、蔣馮兩氏の間は極めて險惡となり、南京政府より馮氏に右を詰問せるに、馮氏はこれに關してそれは捏造で自分は與り知らぬと打消してゐると

南京政府が遺憾の意を表す

伊藤主計射殺事件に關し崔士傑氏を派して

【奉天特電二十三日發】南京政府は伊藤主計射殺事件に關し濟南交渉員崔士傑氏をして我安滿師團長を訪ねしめ遺憾の意を表させ同時に廿一日附にて新たに濟南公安局長代理を任命一千元の懸賞を以て犯人逮捕に當らしめつゝあるが何等の手がゝりもないと

反日を中止して商人の苦痛を廢除せよ

◇―中國民報の論調

【北平二十三日發電】本日の中國民報は「中央に反對する北平反日會に反對す」と題して反日會は濟南事件發生に依り成立したものであるから該事件解決後は當然消滅すべきである、然るに彼等は一層惡化し通電を發し政府を罵り賣國奴と稱す、是明かに黨規違反であり公然中央に反對するは其の間何等かの複作用あるものと見られる、當局は宜しく政府の制止命令を執行して速かに一般商人の苦痛を廢除すべきである と論じてゐる

政府の掣肘は受けぬ

反日會幹部豪語

【北平二十三日發電】衛戍司令代理商震氏が近く反日會彈壓の擧に出づべしとの報を齎して反日會本部を訪へば同會幹部は我等の運動は純然たる民衆運動で何等政府の掣肘を受けず取締令若くは人權擁護令の發布に依り毫も影響を受くるものに非ず中央黨部の命に服するのみと豪語してゐる

支那の海軍擴張不援助協定成立

武器禁輸協定廢棄に伴ふ外交團の秘密協定

【北平二十三日發電】廿三日の外交團會議で對支武器禁輸協定廢棄と共に支那の海軍擴張を援助せざる秘密協定が成立したが、これが協定成立事情は列國が支那側の要求に應じて對支武器禁輸協定廢棄後に於て無制限に各國武器が流入し殊に極めて幼稚な支那海軍に對し列國が競爭的に援助を爲す時は內亂の慘禍に苦む支那に更に苦惱を深くして國際關係を紛糾せしむるものなりとの意見に一致し茲に右秘密協定の成立を見て即時效力發生となつたものである、尙武器禁輸協定は來る二十六日外交團より國民政府に通告し正式廢棄となる

馮玉祥氏

衝突を避く

【南京廿三日發電】某所着電によれば廣西派と組んで對蔣通電を發

民政黨、首相に會見の申込

政府の失政を質すべく　拒絕せば輿論に愬ふ

【東京二十四日發電】民政黨は滿洲某事件の後始末並に濟南事件協定交換公文不諮詢問題及び濟南撤兵延期問題を中心として政府の失政を質すべく田中首相に會見を要求してゐるが、二十四日は首相が橫濱復興事業視察の爲め會見不能となつたので明二十五日會見承諾あるべき事を期待してゐるが若し田中首相が會見を拒むに於ては續いて幾度も會見を申込み飽く迄政府の失敗を追及し場合に依つては聲明書を發表し輿論に愬へるとしてゐる

拓殖省官制の精査委員會

廿五、六日頃開會

【東京二十三日發電】拓殖省設置に伴ふ諸官制の制定改正の件は樞府精査委員會に附議され其の第一回を開いたのみで次回期日は未定となつてゐるが、平山委員は旅行を終へて歸京し江木委員は風邪も快癒してゐるので政府側は第二回開會に差支へなしと認め二十五六日頃開會を申込む筈である、尙樞府側は一部の主張する朝鮮除外論と呼應して最近朝鮮で除外陳情が行はれてゐるが、政府は之に取合はず依然原案を以て望む方針で新設省の名稱としては興殖省、拓殖省等種々考究され名案なく樞府側の意見を聽いた上變改するに異存なしとしてゐる

政友幹部改選で猛烈な推薦運動

有力候補者の顏觸れ

【東京特電廿四日發】政友會の幹部改選の臨時大會はいよ／＼廿八日に開かれるので地方團體を背景として自薦或は他薦の運動頗る猛烈に行はれつゝあり幹部に於ても之が銓衡に就いて愼重なる考慮を拂つてゐるが目下最も有力なる候補者として目さるゝものは次の如くである

▲總務委員候補　秦豐助、田邊七六、熊谷直太、岡田伊太郎、植原悅二郎、井上孝哉、山田義一、岡田忠彥、土井權大、高山長幸、松野鶴平、山口恒太郎

▲幹事長候補　森恪、秋田淸、松野鶴平

▲常議員會長候補　木下成太郎、松浦五兵衛

▲黨務部長候補　田邊熊一、松浦五兵衛

▲遊說部長候補　兒玉右二

▲通信部長候補　安藤正純

▲政務調査會長候補　中村鐵、岡田忠彥

「米國の軍縮基礎案を全然拋棄するもの」

ギブソン氏の新聲明に對して　下院海軍委員長聲明

【ワシントン二十三日發電】米國下院海軍委員會委員長ブリテン氏は海軍々縮問題に關しステートメントを發しゼネバの軍縮準備委員會に於ける米國全權ギブソン氏の演說を批評し左の如く述べた

右は一昨年ゼネバに於て日英米三ケ國海軍制限會議に對し米國委員をして提議せしめた協定の基礎的原則として提議せしめた處を全然

拋棄 するものである、之れと同時に右は英國外交が海軍々縮問題に關し勝利を占めた事を意味する、蓋し英國政治家は夫々國が其の使用の目的に最も適する型の軍艦を建造し得るが如き提案には飽くまで執拗に反對して來つた、從つて米國が艦種に依る海軍制限を提案することは難なく又復會議決裂の途を辿りつゝあるもので斯くの如きは華府條約が齎らしたより以上に米國の國防に重大なる結果を齎らすものである、英國は世界各地に多數の海軍根據地を持つてゐるが他の諸國は何れも之れを持つてゐない、故に之等英國の海軍根據地を考慮に入れざる提案は悉く不公平の

提案 である、又若しギブソン氏にして單に軍艦のみの制限のみを提案し快速を有する巨大なる商船の軍事的價値を無視し居るならば彼は米國の有する光輝を見逃し老獪なる英國の外交家に籠絡せられ我世界的地位を失墜せしむるものである、苟くも米國の世界的地位を失墜せしむるが如き協定には米國は調印せざるを可とす

自ら議員を辭して市長に處決を迫らん

一部議員間の意嚮　善處に惱む滿鐵系

大連市長選擧に絡はる彼是疑惑事件一段落の後、市會當面の問題として石本市長が推薦せんとする助役及び收入役に對し市會の大勢が如何なる態度に出るかといふ點にあつて之がため未だ相互に協議したこともないといふのは事實であつて假りに助役收入役が投票に依て認否を決せらるゝが如き場合滿鐵系は結局自由投票を見るであらうと觀測されるが要するに同系議員が頭を惱まし居る主點は市長問題其のものであつて

此の點 が圓滑に行かねば或は助役、收入役の認否に際し其一部の意嚮が反映するかも知れないといふ狀況に在るわけである

分野は 既に明瞭である如く滿鐵系議員の向背が最も注目せられ居る中に同系議員は孰れも愼重なる考慮を拂ひ如何にすれば市民大多數の輿論に副ひ得べきかと腐心しつゝあるもの如くである今日まで知り得たる眞相に據れば假りに石本市長に對する輿論が反對に傾いてゐるとすれば此の市長を選擧せる議員の責は單り所謂擁護派のみならず此の

形勢を 誘致せる全議員に責任ありといふ論に對しては滿鐵系の多數は自ら之を首肯し中には此の際自ら議員を辭職すると同時に石本氏をも辭任せしめて一切を新規蒔き直さんとまで決意し居る向きもあつて或は近日中具體化するやうになるかも知れない、然しながら滿鐵系なる

立前に 於いて一致團結して此の問題の善後措置を講ずるといふことは絕對に避くる方針で

拓殖省から朝鮮除外演說會

きのふ京城社會館にて　近く代表上京して運動する

【京城特電二十三日發】拓殖省新設と共に朝鮮を同省管轄たらしめんとするは併合の精神に反するとて去る十六日同民會幹部の脫退せしより端なくも各方面に反對運動の氣勢が揚がり、同民會、國民協會、甲子クラブ、大正親睦會、教育正會の五團體より成る拓殖省朝鮮除外同盟會では二十四日午後五時より長谷川町社會館に於て拓殖省の下に朝鮮を置くことは絕對に反對すると云ふ聯合演說會を開くと、尙同志會脫退派は二十四日の演說會を濟ませて同夜代表者として朴榮吉、曹炳相の兩氏は上京することゝなつた、又國民教育會からは金明濬氏を代表としてその他各團體からも代表を派して上京せしめ東京で各代表が共同して運動をなすと

不戰條約問題の對策協議

【東京廿三日發電】二十三日の閣議は不戰條約問題につき前田法制局長官より米國政府の意向、解釋留保案文等につき報告し小川鐵相より樞府側の情勢につき報告協議を行つたが山本、望月、三土三閣僚不在の爲め決定を保留し更に解釋留保の場合外務關係に於て生ずることあるべき責任問題についても意見の交換を行つたが、留保案文に就ては尙外務當局並に小川鐵相並に前田法制局長官等に於て愼重研究を重ねることゝなつた、而して同日午後三時半田中首相、小川鐵相及び橫濱より歸京せる山本農相を官邸に招いて同問題につき協議したる後同五十分金子樞府顧問官の訪問を受け約三十分に亙り協議を行つた

豫想を裏切つて振はぬ打通線

配車不圓滑に運送經費嵩み　貨物は四洮線に流る

支那側が滿鐵線の勢力を奪ふべく之に並行して敷設せる打通線はその豫想を裏切つて頗る不振を極めて居る、一昨年十月同線開通以來山東苦力の移住增加し通過地方は俄に開發せられ特產物の年產十二三萬噸に及んだが打通線によつて輸送せらるゝ量は僅にその一割內外に過ぎず他は全部鄭通線より四洮線に出で滿鐵線と連絡して居る

打通線の輸送不振の原因は

一、貨車の型が雜多なため所要の車輛を得ることは頗る困難し最近の實例では要求以來五十幾日目に得た事實がある

一、運賃は比較的低廉であるが鐵道側は運送貨物の危險に對する責任を負はぬ、從つて荷主は貨物に對し一人の護送人を附せねばならぬのでその乘車賃を加算せば却つて運賃の多額を要する

一、諸雜費が嵩む即ち常關稅(大豆は一石につき二十九錢)を徵收され更に機關車の油差代、苦力の酒錢等をも拂はねばならぬ以上の他種々の不便多く現制のまゝでは到底同線の存在價値として增大せしむることは不可能である

解禁時機の明答を

商工會議所より要求

【東京二十四日發電】貿易轉換期を控へ財界には金解禁論再燃しているが政府の態度曖昧なるに鑑み日本商工會議所では廿三日常議員會を開いた結果、三土藏相の歸京を待ち藤田會頭をして藏相と會見せしめ解禁に對する政府の準備並に其の時機如何につき明確なる回答を求めしむることになつた

上半期の銀行業績

減配を免れず

【東京特電廿四日發】上半期の決算も剩す處二ケ月に迫つた今日全國各銀行の營業成績は定期預金利下の効果も未だ弱なるに拘らず貸出金利は利下の機會に益々低下の傾向にあり一方公債相場の低落もあつて東西一流銀行は兎に角地方二三流銀行の經營難益々深刻化しつゝあるため配當の如き前期同樣若くは減配の已むなきに至るべく二三流銀行中には單獨減配は信用保持上困難なので此際大藏省當局が全國的に減配強要の擧に出でんことを希望してゐる

大連警備の中隊到着

廿四日交代

第十五聯隊と交代して新たに大連警備の任に當る第九聯隊の派遣中隊は二十四日來連中隊長平原靜夫大尉は市內各方面を歷訪新任挨拶を述べた

北樺太宛郵便物は長春經由

當地遞信局管內より北樺太に達する通常郵便物は昨年十二月二十日以來毎週一回豐原局及び北樺太「オール」局間の陸便に依り逓送してゐたのであるが、最近暖氣の爲雪解けの結果、逓送困難となつたので四月十一日限り此の線路による逓送を中止し命令船便及運送船便に依り逓送することゝなつたので同方面宛通常郵便物にして「內地經由」の指定なきものは今後長春經由にて逓送する事となり隨つて長春經由の方が速達する筈であると

四洮鐵路活況

【哈爾賓特電二十三日發】洮昂鐵道は萬國賓氏が局長に就任して以來遽に活氣つき總て營業は積極的方針に出てゐるが近く隣接鐵道の四洮、東支及び滿鐵などゝも連絡運輸を開始すべく計畫中であると

埠頭待合所の整理方法決る

花時の出船、入船に混雜を極める埠頭待合所の船客及送迎人整理に關し水上署、商船、大汽、埠頭等より關係者出席協議會を開催した結果、左記の如く整理方法を決定した

一、係員の配置、一二等渡橋入口(一名)同通路ベランダ(一名)同通路待合所內(二名)三等渡橋入口(二名)同通路ベランダ(二名)同通路待合所內(二名)岸壁(一名)遊動員二名

二、船客以外の者は可成乘船せしめざる事、殊に出帆十分前よりは絕對に渡橋禁止

三、定期船の發着の際は渡橋上には係員以外の者は立たしめざる事

四、岸壁における送迎は許さゞる事(但し團體に對しては第二埠頭主任の許可によりその限りにあらず)

五、出帆十一分より一分間ベルを鳴らす

六、着船の際は船客の上陸終了迄は特別の事情ある者の外は一切乘船を許さず

七、混雜を防止する爲渡橋と待合所柱との間は誘導ロープを張る事

八、船客待合所における迷兒及遺失品は水上署にて取扱ふ

旅順第二中學と師範學堂の合併

華人教育の體系確立のため　關東廳で具體案考究

旅順第二中學校の廢止論は華人教育の體系を確立する意味から師範學堂と共に關東廳學務課の研究事案として保留の形であるが、師範學堂と二中を合併するとせば如何に教育上に改善を加ふべしかの點に關して具體的の成案を考究中である、藤田學務課長の意嚮によると

第二中を廢止することは創立日尙淺きと前任者の計畫を蹂躪し濫に廢校することは教育上面白からず、且つ第二中學校の入學希望者の增減その他についても亦可らくは仔細に檢討し是非の方法を講ぜねばならぬとの見解で師範と第二中を合併することに全然反對の態度ではない尙傳ふる處によると州內華人教育の體系を確立するには文教審議會の中等學校二部制教育改善に伴ひ師範學堂と第二中を合併した際第三學年から二部制を採用し甲は教員として乙は上級學校入學志望者として制度を改めてはとの說が尤も有力で稍可能性あるものとして認められてゐる

第二次慰問使

滿鐵山本社長の沿線慰問第二次慰問使藤根理事は三十日大連出發の豫定であるが同氏は先づ慰問品を自動車に積んで旅順に赴き、更に旅順より奉天以南の各地及び安奉沿線全部を巡回する筈だと

遞信局語學研究生

當地遞信局では毎年管內各局所職員中より試驗に依り若干名を選拔して事業上必要なる語學研究のため上海香港方面に留學せしめてゐるが本年は遞信局出浦清次、大連郵便局坂口石雄の兩氏之に合格し向ふ一ケ年間共に香港に派遣を命ぜられたので近く出發する

飯塚出雲大社理事

出雲大社千家管長一行の來連は既報の通りであるが、それに先だち飯塚參事は昨二十四日入港のあめりか丸にて來連した

安田氏來連

安田家安田與竹氏は去る廿日京都發程朝鮮各地を巡遊して五月六日大連着約三十日間滯在沿線各地を視察し南支方面に赴く由なるが滿鐵竹中經理部長方に滯在する筈

人事

▲大西齋氏(東京朝日支那部長)　二十四日午後二時天津丸にて上海より來連

▲エッチ、アヴエンド氏(ニューヨークタイムス北平特派員)　同上

▲三浦義秋氏(關東廳外事課長)　三月末より急性肺炎にて關東廳病院に入院中の處廿二日退院

▲昨年七月極地に於て遭難したアムンゼン大佐一行があるひは死しあるひは行方不明となつた事件は當時極地探檢史上空前の悲慘事として全世界に一大衝動を與へたが▲爾來一年を閱した今日當時ゴンドラで行方も知れず流れて行つた六人のイタリヤ人は何處かで生きてゐるといひ出したものがある▲彼は當時遭難者救助のため拔群の功績を現はした露國の碎氷船クラッシン號の救助隊長サモイロヴイッチ教授である▲教授は最近イタリア遭難調査委員會に出席して次の如くいつてゐる▲「曾て北極洋エッチ島で難破した船の乘組員の一人がフランツヨセフ島で二年間生存してゐた事實がある、多分の食糧をもつてゴンドラで流れて行つた六人が生きてゐないと誰が斷言し得るか、彼等を搜すのは人類の道德であり義務である、誰かこの資金を出して搜索を行はしむるものはないか」

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
四月	二三一九〇	二三一九〇
五月	二三八九〇	二三七九〇
六月	二三六五〇	二三五八〇
七月	二三六四〇	二三五六〇
八月	二三六〇〇	二三五五〇
九月	二三五七〇	二三五二〇
十月	二三五一〇	二三四九〇

東京株式(短期)

銘柄	五品	東新
寄値	二一四〇	一四三一〇
引値	二一四〇	一四一九〇
高値	二一五〇	一四三二〇
安値	二一四〇	一四一九〇

大阪株式

銘柄	後場寄	後場引
大株	九二五〇	九二三〇
大新	八二一〇	八一八〇
鐘紡	二六〇八〇	二六一三〇
鐘新	一三三〇〇	一三二〇〇
日糖	不申	不申
郵船	不申	不申
東新	一四二二〇	不申

神戸期米

限月	後場寄	後場引
四月	二八六〇	二八五七
五月	二九一五	二九一〇
六月	二九六八	二九七六

東京期米

限月	後場寄	後場引
四月	二九三六	二九二一
五月	二九七九	二九六五
六月	三〇一三	二九九八

大阪期米

限月	後場寄	後場引
四月	二八五〇	二八四五
五月	二九二一	二九一四
六月	二九八〇	二九七一

神戸特產錢(廿四日)

品目	値	値
大豆現物	[illegible]	[illegible]
豆粕現物	[illegible]	[illegible]
先物	[illegible]	[illegible]
滿洲小麥	[illegible]	[illegible]
豆油現物	[illegible]	[illegible]

特產

◇定期後場(錢建)

▲大豆(保合、單位厘)

限月	寄付	高値	安値	大引
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　三十三車

▲三等大豆(出來不申)

▲豆粕(出來不申)

▲豆油(保合)(單位錢)

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　一千箱

▲高粱(保合)(單位厘)

限月	寄付	高値	安値	大引
四月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　五十六車

▲包米(出來不申)

◇現物後場(錢建)

品目	寄付	大引
混保(渡込) 大豆	六一四〇	六一五〇

大豆裸物 出來高 二十車

三等大豆(出來不申)　豆粕(出來不申)　豆油(出來不申)　高粱(出來不申)　包米(出來不申)

商品

後場(出來不申)

錢鈔

◇定期後場(單位錢)

限月	寄付	高値	安値	大引
近期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高　近期三十三萬圓　遠期五十八萬圓

◇現物後場(單位錢)

時刻	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	―	[illegible]	―
二時半	―	―	―
三時半	―	[illegible]	―

出來高　銀對洋一萬二千圓

コドモページ

童話 映畫 脚本

二つの卵（六）

原作脚色　木谷利春

お老爺さん〳〵お金を忘れちやいけませんよ……

太郎は大きな聲でお老爺さんを追ひかけました。そしてやつと追ひついてお金を渡そうとすると

お老爺さんは吃驚した樣な顏をして申しました……

「これは何ぢや？」

「お金ですよ」

「何に使ふものだ？」

「何つて！、パンを買つたから代金をお拂ひするんです」

「あんたの云ふ事はちつとも分らない、買ふだとか代金だとか」

暫くしてやつと思ひ出した樣にお老爺さんは申しました

あゝやつと分つた、私が小さい時分私のお祖父さんがよく聞かせて呉れたものだ……

「昔お金と云ふものがあつた そして世の中のことは何もかもお金で動いた時があつた。その爲めに今考へられない樣な色々な恐ろしい事が絶えなかつた」

おかしなお老爺さんだ。太郎は目を見張つて聞いてゐました

やがて

「こんな古くさいもの何處から持つて來たのぢや、外の人に見せると笑はれるぞ！」

お爺さんはさつさと縮をかついで行つて了ひました……

太郎は妙に思ひ乍ら兎に角お腹が空いてたまりませんでしたから、そのパンを頂きました

やがて別の通りまで來ると……一人の老母が新しい草履を持つてちよこちよこと太郎の側へやつて來ました

まあ坊や！あんたの草履は隨分きたないのう、これをおはき……

老母は太郎のきたない草履を新しい自分の草履と交換してくれました。そしてさも滿足そうにさつさと自分の家へ入つて行きました。

太郎はまるで狐にだまされた樣でした……

さつきから不思議な事だらけの町でした。一つ一つ解き難いなぞでした

とある町角の……大きな石のかげの涼しいところに長い長い眞白な髭をした一人の老人が坐つた儘眠つてゐました

そうだ此の人に聞いて見樣……先刻からの妙なことだらけのこの村の事を此人に聞いて見やう、この人なら乾度敎へて呉れるかも知れぬ、そこで太郎は靜かにその老人をゆり起しました

お爺さん！お爺さん……

思ひ切つてよく眠つてゐるその老人をゆり起して

さて太郎は問ひました、

「お爺さんは一體何してゐるの」

お爺さんは眠た氣な瞳をしばたゝいて

私はおまわりさんだよ、眠たかつたから眠つてゐたのさ……

「えーお爺さんはおまわりさんなの、だつてサーベルがないや」

「サーベルつて劍のことか、それは昔のことだ、昔は惡い人が居たから劍が必要だつたのだが今はそんな必要がないのだ」

動物畫報（12）

見かけのわりにおとなしい犀

その肉は食用となる

えー、今度は犀をお目にかけませう。角のある動物は大ていその角が頭の上にあるものと相場がきまつてゐますが、犀だけは頭の上でなくてお鼻の上にあるのです。しかもその角が御丁寧に鼻の上に二本もならんでゐるのがあつてまことに奇妙な格好です。現在世界に棲んでゐる犀には種類が五種ばかりあつて、その中三種がアジア產、他の二種はアフリカ產です。犀は一寸見ると如何にも獰猛な動物のやうに見えますが性質はまことにおとなしく操行は甲の部類、その肉は食用となり、角は犀角と言つて昔からお藥に使はれてゐます。

ニドメノ 大チャンノタンケン（42）

ハルミチ作、ジラウ畫

大チャントイツショニ タンケンニ デテカラ テモチブサタデ コマツテヰタブルハ リスヲ ミツケテ キユウニ ゲンキヅキマシタ。

ブルハ「ワンワン」ト ホエナガラ、リスノアトヲ オヒカケルト リスハ オドロイテ キカラキヘ エダカラエダヘ ニゲマハリマシタ。

ブルハ マスマス オモシロガツテ 大チヤンガ シキリニヨブノヲ ミミニモイレズ リスノアトヲ オヒカケナガラ モリノオクニハイツテイキマシタ

母國見學旅行記

なつかしい大阪をあとに…

—四月四日（第十七日）—

彌生高女旅行團　大貫ちよ

八頭宿を出て造幣局に向つた もうそろそろ旅の疲れも出て來たと見えて、電車の中で居眠りさへしてゐる人もある。電車はこの睡眠不足の私達を乘せてやがて天滿橋で下して呉れた。我等の日常使用する

貨幣 が如何にして出來上るかといろいろと想像しながら門を潜つた。淸くもない淀川の流れを見て待つて居る中に交渉に行かれた先生の御報告は私達を落膽させて終つた。今日の記念日で休みだと。せん方なく聖徳太子の建てられたと言はれる四天王寺に參詣した。古い建物で大變立派である。こんな古い建物が日本到る處に澤山殘つて居る事は大なる誇りであると感じた。今度の旅行でつくづく日本には神社佛閣の多いのに驚いた、ほんとうに日本は神の國であり

佛教 の國であると思つた。暫く休んで天王寺公園に行く、こゝは公園と言ふよりも何となく大連の小學校の運動場のやうな氣がしたのであつた。更に私達は重い足を引きずりながら大阪每日新聞社を參觀した大新聞社であることを親切な案内と説明によつて知つた。新聞の出來上るまでの苦心、且つその敏速な事。丁度私達の行つた時に「池上朝鮮政務總監の死、後藤伯の卒倒」の號外を出した處であつた

私達 が新聞紙を見る眼と態度とに大いに反省しなければならない事が分つたやうな氣がした。

一時頃其處を辭して宿に歸り出發の仕度くをして置いて阪急マートケツトに買物に行つた。目につく物のすべてが欲しくてたまらぬ、然し今はもう、十錢のお金さへ出すのが惜い時であるから皆樣中々よく財布の口を締めて居られる。四時頃夕食を濟まして

下關 に向ふべくステーションに行く。心配した程の事もなく汽車に乘り込めた。五時五十分の列車で大阪に別れをつげた。

さらば大阪よ！健在なれ！又いやな車中の一夜を明すのだ

白墨の粉

市内の某書店で調べたところによると▲少年少女雜誌中で最も賣れ行きのいゝのは講談社の少年倶樂部▲それについでは小學館發行の何學年生といふ各學年別にした雜誌、それから少年倶樂部、少女倶樂部子供の國、子供朝日と言つた順序▲一時素晴らしい賣れ行きを示してゐた日本少年あたりは最近ぐつと下火になり、少年世界少女世界、少女の友等もさつぱり出なくなつた▲それから桃太郎、カチカチ山、浦島太郎などいふ幼年向きの繪物語は一時盛に賣れたものだが此の頃では餘り賣れなくなり、乘物畫報、動物畫報と言つたものが盛に賣れるさうだ

新刊教育書紹介

▲考へ方（五月號）日土講習會出發式記念增大號である（定價五十錢東京神田區一ツ橋道町考へ方研究社）

▲學校經營（四月號）學業成績等差の機緣、自己修養の意義、現代教育の破壞と建設、學士號の價値如何、國民敎育に目覺めよ等の教育評論及學校經營の實際に關する研究記事・文藝等滿載（定價五十錢東京市麴町區四番町第一出版協會）

▲教育時論（四月十五日號）現代日本教育の檢討、教員の俸給値下問題、愛國心の種々相、どん底生活の悲哀其他（定價十八錢東京麴町區三番町開發社）

懸賞童話募集

一、種類

一種　尋常小學校三四年程度十五字詰八十行以内一回讀切り

二種　尋常小學一年程度、全部假名書、九字詰六十行以内一回讀切り

一、內容　滿洲の色彩豐な明るい無邪氣なもの

一、賞金

一種…甲賞十圓　乙賞五圓

二種…甲賞五圓　乙賞三圓

一、應募資格　何人にても差支なし

一、締切　五月十日限り

【注意】

◇純然たる自作に限る

◇字體は明瞭に書くこと

◇一人にて何篇應募するも差支なし

◇發送先は「滿洲日報コドモページ係」とし「懸賞童話」と朱書すること

◇原稿は一切お返しいたしません

グロスター公殿下御愉快に御航海
日本御訪問を殊のほかお欣び
ト書記官聲明書を發表

【東京特電廿三日發】廿二日發モレア號よりの無電によれば、本日海上は微風あるも波靜かにしてグロスター公殿下には御愉快な御航海をつゞけられてゐる、本日午前十時トーマス書記官は殿下に代り、同船の榮を擔つてゐる岩崎久彌男に對しグロスター公殿下が日本にお着きになる日をお待ち兼ねになつてゐること等を物語り、午後三時半左のステートメントを發表した

グロスター公殿下は目的地に近づきつゝあることを最もお樂しみとせらるゝと共に、日本天皇陛下に對する御使命の御成就につきいとも御熱心に御關心あり、殿下はウエルス殿下、ジョージ殿下、コンノート殿下等より日本帝國臣民の深厚なる御歡迎につき御聞き及びになり又秩父宮と厚き御友情を再び溫められることは非常な御喜びである、殿下は又日本に於ける數限りなき美術品や歷史的事物の數々を御覽あらせられることを希望してをられる、而してこれ等の凡ての理由から殿下は傳統的友誼により結びつけられてゐる美しき日本に最初の御訪問の機會を得られたことを最も欣幸とせられてゐる

純日本の音樂や舞踊に憧憬し給ふ
グロスター公殿下
風强く船搖るゝも極めて御元氣

【東京廿四日發電】モレア號無電二十三日發、佛領印度支那沖を通過す、風强く船搖るも殿下は御元氣に在す、波間に飛び交ふ魚族の群等を興深く御覽あり日課の運動に耽り給ふ、船中の殿下は御微行客故特別の御待遇も申し上げず食事も一般客と變らず、晩餐にタキシードを召さるゝ外は御服裝も極めて簡單である、トーマス書記官の談に依ると殿下には音樂に興味を有せられ純日本の音樂及び日本舞踊に憧憬し給ひ又日光、京都の風光、保津川下りの壯快味等に非常なる期待を御持ち遊ばされてゐる

蒙古王公が農事試驗場視察
歸國の途公主嶺へ

【長春特信】來長中の哲里木盟下王族は王族會議終了後夫々歸國の途につき、一部は自動車にて農安街道を歸蒙したが王公及び從者二十名は二十一日長春發中島滿鐵渉外係長の案內にて公主嶺に向ひ農事試驗場を視察し四平街經由歸蒙したが、各王公等は農事試驗場の家畜改良に關しては多大の興味を以て見たと

故後藤伯の供物寄附
少年團へ

【東京二十四日發電】故後藤新平伯の葬儀は生前の華やかなりし伯の行方に相應はしく盛んに營まれた事は既報の如くであるが、葬儀當日祭壇に備へられた菓子供物はトラックで四臺と云ふ驚くべき多數で、遺族は其の處分につき考究の結果故伯が手鹽にかけて育てた東京聯合少年團に寄贈し本部は伯の形見として各支部に分けた

音が見え光が聞える器械を發明

【ニューヨーク發】ジエネラル、エレクトリツク、コムパニーの顧問技師ジョン、ビー、タイロー氏は音響が見え光線を聞くことが出來る新器械を發明し、今度アスター、ホテルに開かれたアメリカ科學協會の大會席上で實驗したが、この新發明は光線が裝置された反射鏡の焦點に合する時音樂を奏しながら（部屋を動き廻り）光線が焦點を離れるか或は遮られるかすると同時に音樂も停止する仕組になつてゐる、タイロー氏はこの新發明の器械を「放送器」と區別するため「限送器」と稱してゐる

籠球リーグ戰

本月十四日より一中體育館で開催中の大連バスケツトボールリーグ戰はその後左の通り大廣場ＹＭＣＡ屋外コートにて行はれる事に變更

二中對商業　廿六日午後四時半
ＹＭ對一中　二十七日同
ＹＭ對二中　二十八日午後一時
工專對商業　同午後二時半
二中對一中　同午後四時

あめりか丸
臺灣航路代船

滿洲の人達には由緣の深い定期船あめりか丸が新しいうらる丸の就航で代船となりこの航路から失はるゝ事となり廿四日最後の姿を見せたが、同船は出帆後しばらく臺灣航路の代船として就航することになつてゐる

皇太后陛下も稻を御親栽
係員準備を進む

【東京二十四日發電】天皇陛下が農事奬勵の畏き思召を以て一昨年以來の御自ら稻作を試みさせ給ふを聞し召されて皇太后陛下には御日常のすさびとして昨年來御所の後邸に三坪の水田を御新設畏くも稻を御親栽あらせられたが、今年も天皇陛下の御親栽あらせられた殘りの苗を植付遊ばされる思召で目下係員は御意を體して準備を進めてゐる

殺人と自殺が非常な增加
紐育市の昨年度統計

【ニューヨーク發】ニューヨーク市長チャールス、ノリス博士の年次報告によればニューヨーク市にかける昨年の殺人及び自殺件數は一昨年に比し非常に增加してゐる殺人件數は一九二七年の三百七十二件に對し昨年は三百九十九件で二十七件の增加を示し自殺者數は千二百四十五件で一九二七年より百二十四件の增加である、各種原因による變死數は一九二七年の六千二十六件に對し昨年は六千二百二十四件である、之を內譯にすれば交通事故による死亡數は一昨年の千二百九十六件に比し昨年は千二百九十六件に減少してゐるが自動車事故による死亡數も一昨年の九百七十二件から昨年は九百十六件に減少してゐる、又昨年飛行機其他高い崖や建築物の上から墜落死亡した者の數は千六十一名、エレベーター事故による死亡七十二名、窒死五百九十四名、溺死五百十九名、誤つて服毒死亡百八十四名、燒死三百七十八名殘りは其他の原因によるものである、而も當市に於ける變死數の約二分の一即ち三千七十九件はマンハツタン區で占めてゐるが、マンハツタンより遙かに人口の多いブローリン區の變死數が千七百四十九

幼兒を虐める人非人の繼父
妻に養はれる入婿の身分
遂に警察のご厄介

沙河口萬歲街三四四無職金井兵重（三）は目下沙河口署保安係で取調を受けてゐるが、金井は元と牧寄と云ひ昨年十一月現在の妻ヨシ子の許へ入婿に入つたものでヨシ子には先夫との間に勝藏（六）と云ふ長男があり、昨年金井との間に良一と云ふ

子供が

生れた處、金井は實子良一を溺愛して繼子勝藏を虐待し、冬期の寒さにふるふ勝藏に殊更懲戒の爲めだと冷水をあびせ、又一室に閉ぢ籠めて鐵拳を揮ふ等の見るに堪へない折檻の限りを盡すので、見兼て近隣の人が仲に入つたり又派出所の巡査が訓諭したが金井は却て虐待を甚だしくし始めたので今度本署で取調べらるゝに至つたものであるが、金井は昨年秋迄辯護士立川寅平氏の許に使はれゐたもので、失職後は妻ヨシ子が大連中央看護婦會の

附添婦

に雇はれ一家の糊口を支へてゐるもので、近隣の人々も「義理にも繼子イヂメの出來た筋合ではないのに」と金井を憎まない者はないと

天覽試合に晴れの出場
滿洲代表の三柔道家

來月四、五の兩日宮城內に擧行さるる武道天覽試合に滿洲在住の柔道家を代表して出場することになつた山田行正（六段）和田大衞（四段）小谷澄之（五段）の三氏中小谷五段は廿三日出帆のばいかる丸で先發し、山田六段は廿五日午前入時發急行で朝鮮經由陸行し、和田四段は廿六日出帆のあめりか丸で海路東上することになつた、以上の三氏は何れも滿洲に於けるナンバーワンで、必勝を期してゐるが三氏の略歷は左の通りである

山田六段　長野縣長野中學の出身、年齡三十四歲身長五尺四寸、體量二十二貫、拔栞は寢業で橫十文字締、左跳腰が得意、大正十一年秋講道館紅白勝負に三段四人を倒して五人目に引分けとなり、昨年十一月明治神宮では壯年組に優勝した、趣味は圍碁、將棋、尺八は免許皆傳、五目並べは初段、基督教を信仰し、日日柔道の習練と共に精神生活に精進して居り一方研究心が深く婦人のために護身術を案案近く出版するほか小學校柔道を專心研究して居る、勤務箇所は滿鐵社會課柔道教師

小谷五段　兵庫縣の產　昭和二年の高師出身年齡二十七歲身長五尺三寸八分體量十八貫五百、大正十四年秋三段から四段に昇段の際講道館の紅白試合に三段を九人拔き十五年秋には明治神宮大會に青年組四段で出場優勝した、拔栞は寢ても立つても滿洲一であらう、趣味はラグビー、ボート、尺八、スケート、スキーで最近熊本の五高から南滿工專に轉勤した人、未だ獨身で元氣一杯の青年である

和田四段　横濱商業の出身年齡二十九歲身長五尺五寸五分、體量二十二貫、昨年明大柔道部來連の際四段二人を倒してゐる、拔栞は右の內股、大內小內で鋼殊はダンスに弓道（初段）水泳は先年極東オリンピツク水泳選手のキヤプテンとして鳴らしたことあり、聞えた親孝行で滿鐵經理部會計課に勤めてゐる

贅澤費に比べ三分一の敎育費
昨年の自動車代百二十億
酒代も多い禁酒國

【ワシントン發】最近の統計によれば米國に於ける一ケ年の生命保險料拂込高は約二十六億二千四百萬弗であるが敎育費（小學校から大學までを通じ）もこれと略同額の二十二億五千五百二十五萬一千三百二十七弗となつてゐる、それで米國民の支出の二分六厘八毛が敎育費で三分一厘二毛が生命保險料といふ計算になる、それから家屋等の建築費は六十七億八千七百萬弗で敎育費の約三倍に當る、また全國で使用されてゐる乘用自動車は一九二七年度に於て二千二十三萬四百二十九臺で世界の七割八分を占め其の購入、運轉並に手入れに要した費用は百十九億五千五百九十萬七千四百四十三弗の巨額に達し收入の平均一割四分二厘一毛に當つてゐる、更に贅澤品となれば非常な巨額で菓子、チユーインガム、煙草、芝居、活動寫眞等に費す費用だけでも敎育費の二倍七七といふことになる、禁酒國であるけれども酒類に費す所も決して、非禁酒國には劣つてゐないらしい、それは米國の樣に敎育に金をかける國でも敎育費と云ふものは割合に少いものであることが判る

關東州野球大會滿洲電氣對國際運輸優勝戰

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
電氣	2	0	1	1	1	0	0	1	0	6
國際	3	0	0	0	2	0	0	0	0	5

獨逸大飛行船長距離飛行へ

【フリードリツヒスハーフエン二十三日發電】獨逸大飛行船ツエツペリン伯號は本日午後一時三十二分當地發地中海中部方面に向つて第二回目の長距離飛行の途に就いた

德川義親侯出發

【東京二十四日發電】德川義親侯は汎太平洋學術會議に列席する爲め夫人よね子、令息五郎君を伴ひ二十四日午前九時半東京驛發ジヤバへ向つた

水野直子危篤

【東京廿三日發電】貴族院議員研究會所屬水野直子は議會終了後持病の糖尿病が昂進し療養に努め本月に入つてからは大森別邸に靜養してゐたが廿一日午後九時突然腦出血を起して以來全く昏睡狀態に陷り廿三日朝來全く危篤の狀態となつた

廿三日旅順に着いた名越第九聯隊長（上）と森本副官

七十名の生存疑問
豐國丸乘組員

【函館廿四日發電】豐國丸遭難現場には大湊要港部から急行した驅逐艦澤風以下各援艦が集合して船體並に行方不明の船員漁夫の搜査に從事してゐるが、昨夜來本日午前迄に漂流中の水夫五名及び死體二個を收容した、殘りの船長以下七十名は依然不明にて生存は覺束ない

遭難の二兵曹
敍勳の御沙汰

【東京二十四日發電】去る二十日濟州島方面で聯合飛行演習に參加中荒天のため行方不明となつた左記の二氏は二十二日死亡したるものと認められてゐるが、二十四日附左の如く敍勳の御沙汰があつた

故海軍兵曹長勳七等　小川鐵次郎
敍勳六等授旭日單光章

故海軍一曹長　鶴羽平吉
敍勳八等授白色桐葉章

花咲く御代に大慘劇
死者實に十二万

花咲けども樂しからず東京大地震時の死者總數約十萬、日本で肺を犯される者一ケ年十二萬人即ち毎年前記震災以上の大慘劇を演じて居る土佐國小松黑藥本家が愼然起つて千二百年の歷史に彩らるゝ祕藥を自慢する家傳の敎ゆる風引かぬ法、肺尖、肋膜等を治癒促進する日常食物並に藥種と製法を公開した懇切平易なる百五十頁の自宅療養說明書は（高知縣…小松黑藥本家）宛ハガキ出せば安全に郵便が着き無代で送つてくれます（廣告）

東京三越爭議
持久戰に入る

【東京二十四日發電】三越吳服店配達部員の爭議は勞働總同盟の後援を受けて二十三日以來持久戰に入つたが三越側は二十三日再び十八名の部員を解雇した

拳銃密輸の嚴重取締
定期船の貨物を點檢

春先より初夏にかけ例年禁制品殊に拳銃の密輸が續發するが、今年は山東における動亂に刺戟され一層猛烈であらうとされてゐる折柄某々國の船が航行中拳銃の受渡しをなし山東に買込んだとの風說が喧傳さるゝに至りて最近投書が盛んに舞込むので當地水上署司法係においても頗る緊張しこれが禁制品の檢擧に對し新陣容をもつて當る事となり今後定期船の入港毎に島田司法主任指揮の下に從來の如き方法でなく貨物に對しては一々これを打開點檢する事となつた

神邊驛で列車顚覆
乘客數名負傷

【福山二十三日發電】二十二日午後十時四十分兩備線上り列車が福山に向け神邊驛を發し約四十間進行した際上り線ポイント附近に

無分別な少年
內地へ送還さる

御目見得泥棒

遺棄死體解剖
病死と判明

薩摩守三名送還

廿三日午後大阪より入港で浙江省溫州生れ盧瑞珍…鄭河…（二〇）同諸德聚…の三名が送還されて來た、同人等は米國汽船によつて祕かに上海より日本入國を企てたもので發見され送還されたものだと、三名は溫州生れの事とて言語全く不通と一文なしに水上署員も困り拔いてゐた

香奠返し

大連美濃町五五溝口ヨミ（五二）は亡夫壽太郎の忌明に際し香奠返しに代、救世軍育兒ホームに卅圓、大慈園に二十圓滿洲托兒所に五圓計五十五圓の寄附方を二十三日大連署に申出た

昭和四年四月廿五日（木曜日）
自午前十一時　相場（特產、錢鈔、株式各地相場）
自午後零時三十分　相場（特產、錢鈔、各地相場）ニュース
自午後三時、十分　相場（特產、錢鈔、株式、各地相場）ニュース
自午後七時
一、ニュース
二、支那語講座（簡易支那語會話）滿鐵學務課秩父固太郎
三、謠曲（綵露）梅若流岩村櫻處
四、浪花節（佐倉義民傳）京山若友
五、支那樂（寶島）唱飛月紅、徐月亭
六、料理獻立
七、天氣豫報
八、ラヂオ體操

本社懸賞當選小說（禁無斷上演）

人生の曲藝（111）

瀨野皓太作
淺枝次朗畫

夜の東京（三）

葉山百合子はすぐに頭を振つた
「いゝえ。だけれど內村さんから今日御訊きしましたゞけですの」
みち子はそれでも、すつかりとは疑ひは消さなかつた。
「妾、どうしても不思議でなりませんわ。妾にはどうしても腑に落ちないことがありますの」
「まあ、それは一體何でせう？」
百合子は不安氣に、きゝたゞした。
「葉山さんが何故、日下部麗子さんだの、崔紅玉さんに、そんなに興味をお持ちだかと言ふ事ですの宛るで、葉山さんはあの方たちを存じてゐらつしやるかの樣ですもの」
しかし、葉山百合子はあわてゝそれを打ち消した。
「妾は、幼い時から此の東京に育ちましたのその上、妾は此の生活をする迄はアメリカに行つて居りましたの。それは乾度誰でも御存じの筈ですわ。
その方たちにお知り合ひになる筈がないじやありませんか」
けれどもみち子は決して彼女を全部信じる事はどうしても出來なかつたのであつた。
しかし、此の問題について穿索立てをする事は、葉山百合子を大へに不機嫌にしてゐる事に氣づくと、みち子はぴつたりと口をつぐんで了つた。
葉山百合子は再び快活になり始めて來た。
「みち子さんは、東京はお始めてゞすの」
「妾は全くの滿洲つ子ですもの」
「東京はいかがです。ずつとゐらつしやり度いとはお思ひになりませんこと」
「さあ、妾は身體が弱いもんですから、とてもこんな騒々しい街には住めさうには思へませんわ。ねえ、お兄さん、やつぱり妾お兄さんの農園の方が好い樣ですわね」
「さうだ。お前にはあまり刺戟が強すぎる樣だ。とても葉山さんの樣な素晴らしい身體にでもならなきや、まづ駄目だな」
「あら內村さん、妾も、もう大概この東京には飽き／＼してますの農園生活なんて、とても素的じやありませんか」
「農園の生活が素的だなんて言ふ人は、まだ百姓の苦みを知らない人なんです。素的どころか、一本の樹を育てるのは、一人の人間を成長させるよりも、努力が要ると言はれてゐる位ですからね」
「だけど、吾々の樣に都會の空氣を吸ひ、殊に妾共の樣に、この都會以外の所に出て、ほんとうの土を踏む事の少いものにとつては、とても羨ましいことだと存じますわ」
「ところが私共から言はせると、あの土くさい百姓着を脱ぎすてゝせめて一月に一度でも好い、スマートな洋服にでも着かえて、この繁華な大通りを歩いたり、愉快な素晴らしい芝居や音樂が聞けたらと思ふ事がありましたよ。しかしどの世界に行つても、つまりは同じ事かも知れません。華やかな生活の中に浸つて、人生を思ふがまゝに享樂して渡つてゆくのも私見た樣に土の中に埋もれてゐるのも考へて見れば同じ事の樣にも思へますからね」
「妾は、毎晩の樣に舞臺に立つてお客樣の哄笑やら涙やらを、摯つてゐます。妾、つくづく考へる事がありますの、一體、どれが妾のほんとうの生活であらうかと、さう考へる事がありますの」
「あなたの仕事も、あなたが自分獨りになつて、そんな事を考へたり、時にはあなたの不思議な過去や、將來の豫想を考へたりする事など、そんなものはみんな、あなたのほんとうの生活ですよ」
「では、嘘の――ほんとうでない生活と言ふのは？」
「そんなものがある筈はありません。ある人はその人が寢てゐる間に見る夢でさへ、その人のほんとうの生活だと言つてゐる位ですからね」
「ほんとうの生活」
彼女は、又小さくさう呟いた。
「では、葉山さんは、何かほんとうでない生活を持つておいでだとも仰言るのですか」
內村信策は、思ひ切つて彼女の胸を鋭くゑぐつて見た。

新刊紹介

▲現代支那語講座（第一卷）支那語を獨學したい人のために最も新しく生れた講義錄で發音、文法、讀本、作文、會話文學、論說、新聞の各章に分け何れも專門大家が擔當して極めて切實懇切に說述してあり初學者には好指南書である（發行所東京市神田區表猿樂町九、太平洋書房、非賣品）
▲東洋貿易研究（第八卷四號）大阪市役所產業部調查課の機關雜誌として東洋貿易に關する資料を蒐集したものである（大阪市役所產業部調查課定價卅五錢）
▲赤い街（五月號）大連市久方町五ノ七赤い街社
▲海防（四月號）東京市麴町區永樂町一丁目一番地海上ビルヂング內海防義會（定價二十錢）
▲電氣之友（四月號）東京市芝區新幸町一番地第一堤ビルデイグ電氣の友社（定價四拾五錢）
▲優生學（四月號）兵庫縣武庫郡香櫨園々具六六七日本優生學協會（定價三十錢）
▲優生運動（四月號）東京市京橋區南紺屋町十二實業ビルディング內優生運動社（定價廿五錢）
▲婦女界（五月號）「姙娠より育兒まで」と題した兒女の養育に關し有益なる記事を滿載して居る（定價五十錢東京丸ビル三階婦女界社發行）
▲支那人士錄（澤村幸夫植田捷雄共編）本書に收錄せる人物は主として一二年來世人の注目を惹いた人物を擇み、また物故せる人をも漏らし人名の發音はトーマス、ウエード氏式北京官音記法によりその姓のＡＢＣ順を以て別にイロハ順及び字畫による索引を附してゐるので容易に見分ける事が出來る（四六版布裝大阪每日新聞社發行定價二圓五十錢）
▲祖國（五月號）東京市外千駄ケ谷町千駄ケ谷五六二學苑社（定價五十錢）
▲俳諧雜誌（五月號）東京市丸の內ビル內俳書堂（定價五十錢）
▲古今民謠選抄（松村又一編）本書は閑吟集以後、現代作家に及ぶ民謠中よりその粹をあつめたものである（袖珍版四〇九頁金一圓八十錢東京神田小川町崇文館書房）